LIXIL TOEX

キューブポート
基本・縦連棟・ロング柱・H28柱・M合掌　取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

警告

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
●カーポートは簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的に、みだりに改造・変更をしないでください。

注意

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
●設置場所の確認をしてください。
・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
・施工場所の気象条件（風, 雪など）に合った製品かどうか確認してください。
・建物の屋根からの雪の落下を､直接受けない位置かどうか確認してください。
・強風地域、特に崖上, 屋上, 風の通り道上などの施工は避けてください。
・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
●傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込み深さを確保してください。
●崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。また、片流れタイプの場合、風当たりの強い場所では、風にあおられない向きに取付けてください。
●キューブパークを施工する場合は、本取付説明書と合わせて、屋根組立部品セットに同梱されている「キューブパーク（D385）」の取付説明書をお使いください。

ポイント

●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。

<施工上のご注意>

注 意

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●ボルト, ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
●アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
●製品の改造は絶対にしないでください。
●施工終了後は、ボルト, ネジなどにゆるみがないか確認してください。
●各部材に弊社指定以上の穴加工をしないでください。強度低下のおそれがあります。

ポイント

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
　特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事について>

注 意

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
●寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
●モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
●製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
●柱内の水抜きができるよう、基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。

ポイント

●基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めていますが、現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
●コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

<電気配線工事について>

注 意

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
●AC100Vの電線の埋設工事, 配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
●電源線の入切スイッチは、配線工事の際、電気工事店でご用意ください。
●AC100V用の照明器具は、第3種接地工事を行なってください。
●DC12V仕様の照明器具には、専用トランスと電源ケーブルが必要です。AC100Vを接線しないでください。
●照明用配線と信号線は、電線管による隔離をしてください。
●AC100V用の照明器具には、周波数50Hz用と60Hz用の2タイプがあります。仕様地域の周波数のものを使用してください。

■梱包明細表

【1】主柱セット

名　称	略　図	員　数				
		2本入	1本入	ロング 2本入	ロング 1本入	H28柱 1本入
柱		2	1	―	―	―
ロング柱		―	―	2	1	―
H28柱		―	―	―	―	1

【2】梁セット

名　称	略　図	員　数	
		2本入	1本入
梁		2	1

【3】竪樋セット

名　称	略　図	員　数	
		L3100	L3900
竪樋 L=3100　φ40		1	―
竪樋 L=3900　φ40		―	1

【4】ブラケットセット

名　称	略　図	員　数	
		2本入	1本入
ブラケット		2	1

【5】幅セット　※側枠が付くタイプのセットです。

名　称	略　図	員　数		
		50型	57型	29型
中間アーチ		6	7	3
中間アーチカバー		6	7	3
端部アーチ		2	2	2
端部アーチカバー		2	2	2
側枠		2	2	2
後付けビート		2	2	2

【6】アーチセット　※側枠が付かないタイプのセットです。

名　称	略　図	員　数		
		50型	57型	29型
中間アーチ		6	7	3
中間アーチカバー		6	7	3
端部アーチ		2	2	2
端部アーチカバー		2	2	2

■梱包明細表　つづき

【7】連棟用アーチセット

名　称	略　図	員　数		
		50型	57型	14型
中間アーチ		7	8	2
中間アーチカバー		7	8	2

【8】妻パネルセット

名　称	略　図	員　数
妻パネル		2

【9】長さセット

名　称	略　図	員　数									
		50型			57型			29型	14型		
		2本入	3本入	4本入	2本入	3本入	4本入	2本入	2本入	3本入	4本入
前枠		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
後枠		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
母屋		2	3	4	2	3	4	2	2	3	4
竪樋 L＝3900　φ40		1	1	1	1	1	1	―	―	―	―

【10】柱ー梁組立部品セット

名　称	略　図	員　数	
		29～57用	14用
ブラケットカバーR		2	1
ブラケットカバーL		2	1
梁キャップ		2	1
プッシュボタン		4	2
アンカー棒		2	1
【10-1】φ5×55サラタッピンネジ		2	1
【10-2】M8×20六角ボルト（平座金・緩み止め付）		14	7
取付説明書　D344	―	1	―
取扱説明書　UD067	―	1	―

【11_1】屋根組立部品セット　※カラー・ウッド調用を含む側枠が付くタイプの屋根組立部品セットです。

名　称	略　図	員　数						
		ミ　ニ			24～27型		30型	
		29型	50型	57型	50型	57型	50型	57型
コーナーキャップR		2	2	2	2	2	2	2
コーナーキャップL		2	2	2	2	2	2	2
母屋金具A　L＝32		4	4	4	4	4	4	4
母屋金具B　L＝62		―	―	―	2	2	4	4
側枠金具A　L＝30.5		2	2	2	―	―	―	―
側枠金具B　L＝60.5		―	―	―	2	2	2	2
止水シール		10	16	18	16	18	16	18
ブチルシーリング材		1	1	1	1	1	1	1
穴隠しシール　φ10		16	16	16	20	20	24	24
横樋キャップ　前		1	1	1	1	1	1	1
横樋キャップ　後		1	1	1	1	1	1	1
横樋パッキン		2	2	2	2	2	2	2
横樋金具　前		1	1	1	1	1	1	1
横樋金具　後		1	1	1	1	1	1	1
雨樋穴ふさぎキャップ		2	2	2	2	2	2	2

■梱包明細表　つづき

【11_1】屋根組立部品セット　つづき

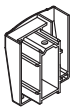
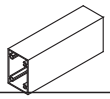
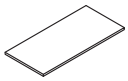
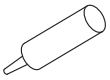
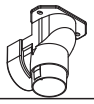
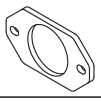
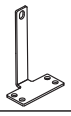
名　称	略　図	員　数						
		ミ　ニ			24～27型		30型	
		29型	50型	57型	50型	57型	50型	57型
アタッチメントパッキン		2	2	2	2	2	2	2
ドレンエルボ　φ40用		1	1	1	1	1	1	1
92°エルボ　φ40用		2	2	2	2	2	2	2
でんでん		3	3	3	3	3	3	3
接着剤		1	1	1	1	1	1	1
カラー用クッション材（※1）		4	4	4	4	4	4	4
【11-1】　φ4×13ナベドリルネジ		3	3	3	3	3	3	3
【11-2】φ5×16トラスタッピンネジ3種		4	4	4	4	4	4	4
【11-3】φ4×10ワッシャーヘッドネジ		60	90	100	106	118	146	163
【11-4】φ4×13ナベドリルネジ		30	42	10	50	10	58	10
【11-5】φ4×12トラスタッピンネジ3種		12	12	12	12	12	12	12
【11-6】φ4×50ナベタッピンネジ1種		8	8	8	8	8	8	8
【11-7】φ4×75ナベタッピンネジ1種		―	―	―	4	4	8	8
【11-8】φ4平座金		8	8	8	12	12	16	16
【11-9】φ5×13ナベドリルネジ		―	―	40	―	49	―	58
【11-10】φ5×50ナベドリルネジ		4	4	4	4	4	4	4
【11-11】φ5×110ナベドリルネジ		―	―	―	2	2	4	4
【11-12】φ4×8トラス小ネジ		4	4	4	4	4	4	4

※1　カラー・ウッド調用部品セットにのみ同梱されます。

【11_2】屋根組立部品セットB　※側枠が付かないタイプの屋根組立部品セットです。

名　称	略　図	員　数						
		ミ　ニ			24～27型		30型	
		29型	50型	57型	50型	57型	50型	57型
前後枠キャップR		2	2	2	2	2	2	2
前後枠キャップL		2	2	2	2	2	2	2
母屋キャップR		2	2	2	3	3	4	4

【11_2】屋根組立部品セットB　つづき

名　称	略　図	員　数						
		ミ　ニ			24～27型		30型	
		29型	50型	57型	50型	57型	50型	57型
母屋キャップL		2	2	2	3	3	4	4
母屋金具A　L=32		4	4	4	4	4	4	4
母屋金具B　L=62		—	—	—	2	2	4	4
止水シール		10	16	18	16	18	16	18
ブチルシーリング材		1	1	1	1	1	1	1
穴隠しシール　φ10		16	16	16	20	20	24	24
横樋キャップ　前		1	1	1	1	1	1	1
横樋キャップ　後		1	1	1	1	1	1	1
横樋パッキン		2	2	2	2	2	2	2
横樋金具　前		1	1	1	1	1	1	1
横樋金具　後		1	1	1	1	1	1	1
雨樋穴ふさぎキャップ		2	2	2	2	2	2	2
アタッチメントパッキン		2	2	2	2	2	2	2
ドレンエルボ　φ40用		1	1	1	1	1	1	1
92°エルボ　φ40用		2	2	2	2	2	2	2

■梱包明細表　つづき

【11_2】屋根組立部品セットB　つづき

名　称	略　図	員　数						
		ミ　ニ			24～27型		30型	
		29型	50型	57型	50型	57型	50型	57型
でんでん		3	3	3	3	3	3	3
接着剤		1	1	1	1	1	1	1
【11-1】φ4×13ナベドリルネジ		3	3	3	3	3	3	3
【11-2】φ5×16トラスタッピンネジ3種		4	4	4	4	4	4	4
【11-3】φ4×10ワッシャーヘッドネジ		60	90	100	106	118	146	163
【11-4】φ4×13ナベドリルネジ		24	36	10	44	4	52	4
【11-5】φ4×12トラスタッピンネジ3種		12	12	12	12	12	12	12
【11-6】φ4×50ナベタッピンネジ1種		8	8	8	8	8	8	8
【11-7】φ4×75ナベタッピンネジ1種		―	―	―	4	4	8	8
【11-8】φ4平座金		8	8	8	12	12	16	16
【11-9】φ5×13ナベドリルネジ		―	―	40	―	49	―	58
【11-10】φ5×50ナベドリルネジ		4	4	4	4	4	4	4
【11-11】φ5×110ナベドリルネジ		―	―	―	2	2	4	4
【11-12】φ4×8トラス小ネジ		4	4	4	4	4	4	4
【11-13】φ4バネ座金		4	4	4	4	4	4	4
【11-14】φ4平座金		4	4	4	4	4	4	4

【12】M合掌棟木セット

名　称	略　図	員　数
M合掌棟木		1

【13】M合掌部品セット

名　称	略　図	員　数			
		50型	57型	29型	14型
M合掌カバー材（下）		4	5	3	2
M合掌キャップ		2	2	2	―
梁連結材		4	4	4	2
合掌クッション材		4	4	4	―

【13】M合掌部品セット　つづき

名　称	略　図	員　数			
		50型	57型	29型	14型
【13-1】M8×75六角ボルト		4	4	4	2
【13-2】M8平座金		8	8	8	4
【13-3】M8バネ座金		4	4	4	2
【13-4】M8袋ナット		4	4	4	2
【13-5】φ4×13ナベドリルネジ		14	15	13	6

【14】M合掌連棟部品セット

名　称	略　図	員　数
M合掌縦連棟カバー材（上）		1
M合掌縦連棟カバー材（下）		1
【14-1】φ4×13ナベドリルネジ		4

【15】連棟スリーブセット

名　称	略　図	員　数		
		18・21用	24~27用	30用
前後枠スリーブ		2	2	2
カラー用クッション材（※）		2	2	2
母屋スリーブ		2	3	4
母屋スリーブスペーサー		2	3	4

※カラー・ウッド調用連棟スリーブセットにのみ同梱されます。

【16】連棟部品セット

名　称	略　図	員　数									
		ミ　ニ				24~27型			30型		
		50型	57型	22・29型	14型	50型	57型	14型	50型	57型	14型
母屋金具A　L=32		4	4	4	2	4	4	2	4	4	2
母屋金具B　L=62		—	—	—	—	2	2	1	4	4	2
ブチルシーリング材		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
穴隠しシール　φ10		20	20	18	10	24	24	12	28	28	14

■梱包明細表　つづき

【16】連棟部品セット　つづき

名　称	略　図	員　数									
		ミ　ニ				24～27型			30型		
		50型	57型	22・29型	14型	50型	57型	14型	50型	57型	14型
横樋キャップ　前		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
横樋キャップ　後		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
横樋パッキン		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
横樋金具　前		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
横樋金具　後		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
止水シール		16	18	8	4	16	18	4	16	18	4
雨樋穴ふさぎキャップ		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
アタッチメントパッキン		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
ドレンエルボ　φ40用		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
92°エルボ　φ40用		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
でんでん		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
接着剤		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
【16-1】φ4×13ナベドリルネジ		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
【16-2】φ5×16トラスタッピンネジ3種		4	4	4	2	4	4	2	4	4	2
【16-3】φ4×10ワッシャーヘッドネジ		84	94	60	28	98	110	30	133	150	40
【16-4】φ4×13ナベドリルネジ		64	36	52	45	79	44	55	94	52	65
【16-5】φ4×12トラスタッピンネジ3種		12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
【16-6】φ4×50ナベタッピンネジ1種		8	8	8	4	8	8	4	8	8	4
【16-7】φ4×75ナベタッピンネジ1種		—	—	—	—	4	4	2	8	8	4
【16-8】φ4平座金		8	8	8	4	12	12	6	16	16	8
【16-9】φ4×16サラドリルネジ		2	2	2	2	3	3	3	4	4	4

【16】連棟部品セット　つづき

名　称	略　図	員　数									
		ミ　ニ				24～27型			30型		
		50型	57型	22.29型	14型	50型	57型	14型	50型	57型	14型
【16-10】φ5×13ナベドリルネジ		―	36	―	―	―	36	―	―	36	―
【16-11】φ5×50ナベドリルネジ		4	4	4	2	4	4	2	4	4	2
【16-12】φ5×110ナベドリルネジ		―	―	―	―	2	2	1	4	4	2

【17】屋根材セット

名　称	略　図	員　数	
		3枚入	4枚入
屋根パネル		3	4

【18】屋根材ホルダーセット　オプション

名　称	略　図	員　数		
		7枚入	8枚入	2枚入
屋根材ホルダー		7	8	2
【18-1】φ5×13 ドリルネジ		18	20	5
取付説明書　D372	―	1	1	―

【19】カラー部材セット

※カラー部材セットは販売を終了しました。

名　称	略　図	員　数	
		1本入	2本入
カラー部材　L=3000		1	2
カラー部材つなぎ材		2	1

【20_1】　Fフレームセット

名　称	略　図	員　数		
		29型	50型	57型
Fフレーム		1	1	1
Fフレーム蓋		1	1	1
Fフレームキャップ		2	2	2
【20-1】φ4×13ナベドリルネジ		21	30	30

【21】シャッターひさし

名　称	略　図	員　数
シャッターひさし		1
【21-1】φ4×19ナベドリルネジ		10

【22】横樋セット

名　称	略　図	員　数
横樋		1

メモページ

INDEX

1　基本寸法と各部の名称 …… 14
　1．各部の名称 …… 14
　2．基本寸法 …… 15

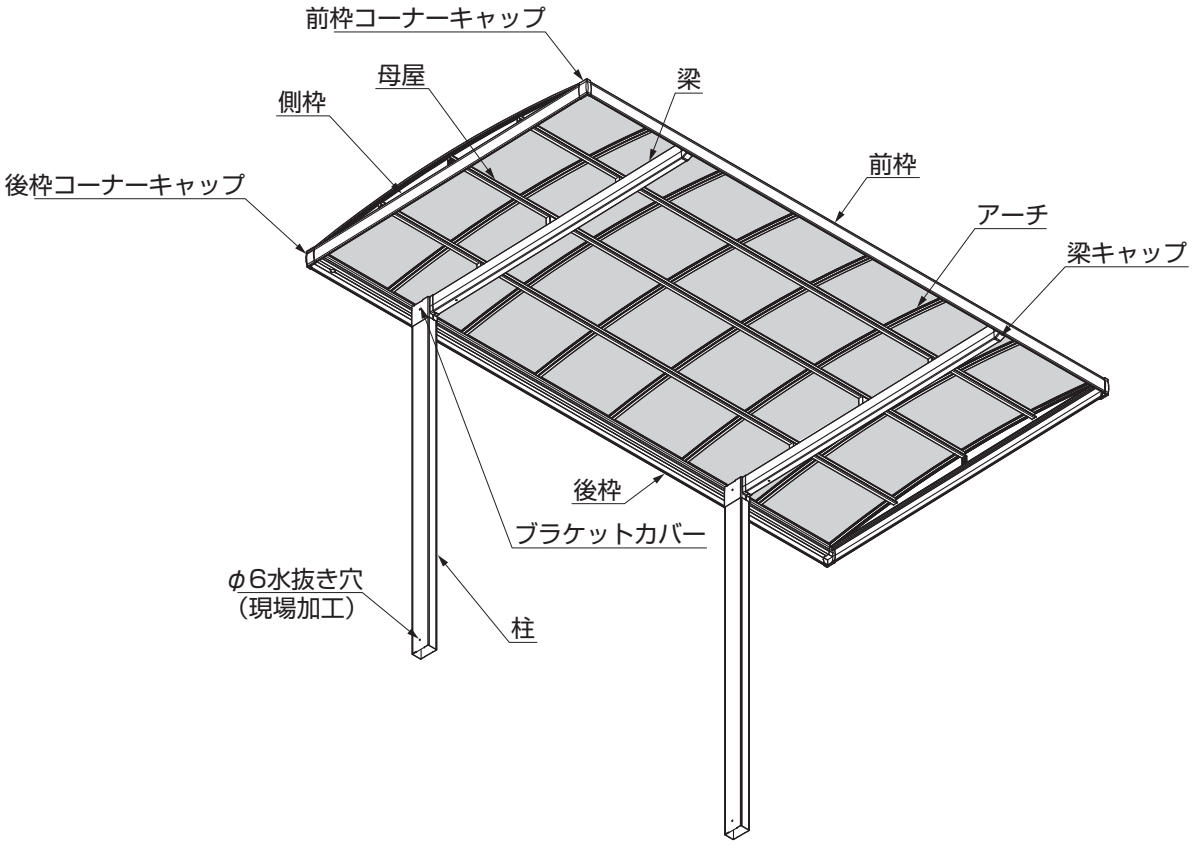
2　基本の施工方法 …… 17
　1．基礎の施工 …… 17
　2．柱と梁の取付け …… 18
　3．カラー部材の取付け …… 19
　4．前枠・母屋・後枠の取付け …… 19
　5．Fフレームの取付け（オプション） …… 22
　6．側枠・アーチの取付け …… 25
　7．屋根パネルの取付け …… 28
　8．竪樋の取付け …… 30

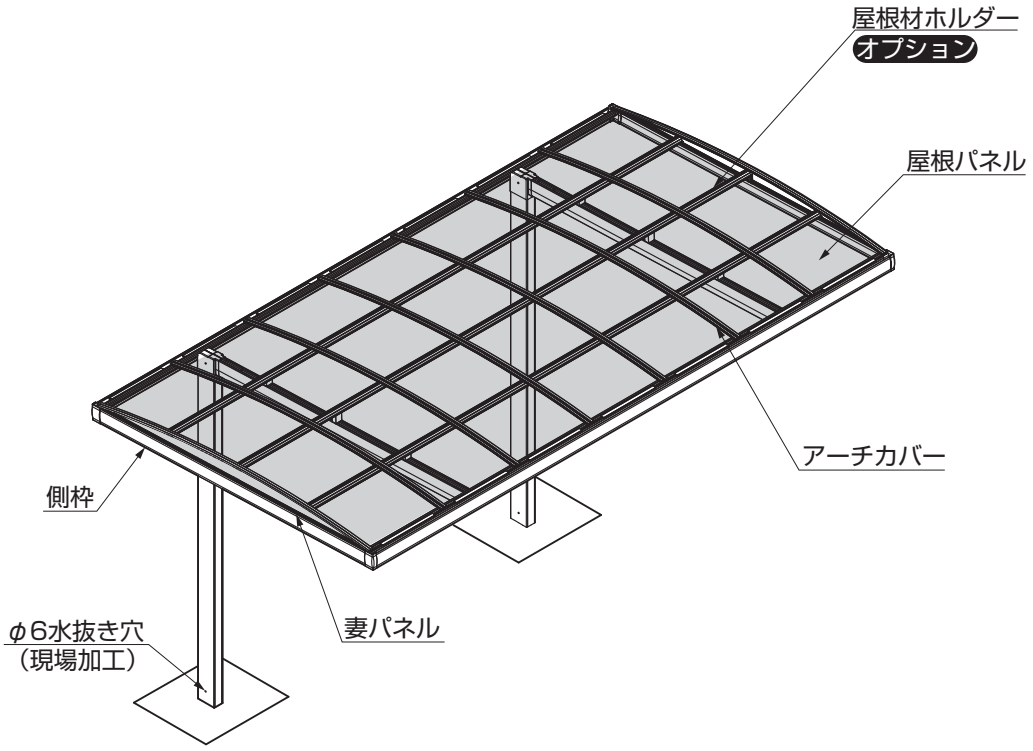
3　M合掌の施工方法 …… 32
　1．基礎の施工 …… 32
　2．本体の組立て …… 32

4　縦連棟・14延長の施工方法 …… 34
　1．基礎の施工 …… 34
　2．本体の連結 …… 35
　3．M合掌縦連棟 …… 37
　4．シャッターひさしの取付け（オプション） …… 38

1　基本寸法と各部の名称

1. 各部の名称





2. 基本寸法

※図は標準柱仕様を示します。
（　）はロング柱仕様、［　］はH28柱仕様を示します。

2-1 レギュラータイプ間口寸法

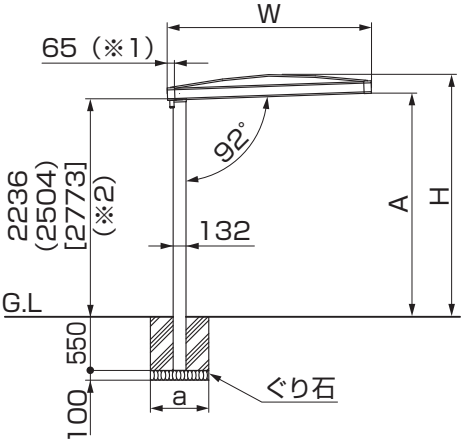


図2-1　18・21サイズ

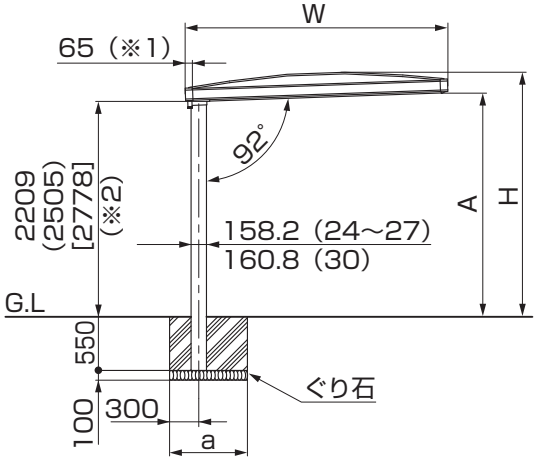


図2-2　24～30サイズ

表2-1　レギュラータイプ間口寸法

サイズ	W	A			H			a：29型	a：50型	a：57型
18型	1807	2282	(2550)	[2819]	2473	(2741)	[3010]	600	600	700
21型	2107	2292	(2560)	[2829]	2486	(2754)	[3023]	600	600	700
24型	2406.5	2283	(2583)	[2852]	2502	(2802)	[3071]	—	800	950
25.5型	2557	2289	(2589)	[2858]	2505	(2805)	[3074]	—	800	950
27型	2706.5	2294	(2594)	[2863]	2508	(2808)	[3077]	—	800	950
30型	3006	2304	(2604)	[2873]	2520	(2820)	[3089]	—	1000	1150

※1　後枠は柱から65mm外に出ます。
※2　梁下寸法です。

2-2 M合掌タイプ間口寸法

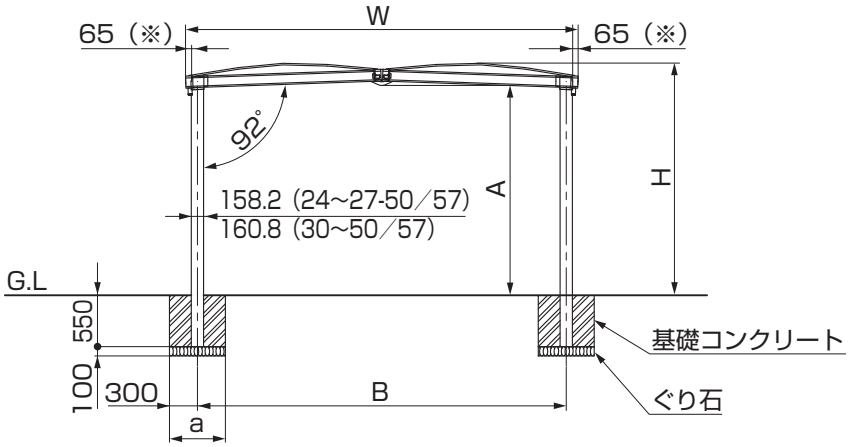


表2-2　M合掌タイプ間口寸法

サイズ	W	A			H			a：29型	a：50型	a：57型	B
18-18型	3623	2228	(2496)	[2765]	2473	(2741)	[3010]	600	600	700	3362
21-21型	4221	2238	(2506)	[2775]	2486	(2754)	[3023]	600	600	700	3959
24-24型	4821	2231	(2531)	[2800]	2502	(2802)	[3071]	—	800	950	4534
25.5-25.5型	5121	2235	(2535)	[2804]	2505	(2805)	[3074]	—	800	950	4834
27-27型	5421	2241	(2541)	[2810]	2508	(2808)	[3077]	—	800	950	5134
30-30型	6020	2251	(2551)	[2820]	2520	(2820)	[3089]	—	1000	1150	5734

※後枠は柱から65mm外に出ます。

2. つづき

2-3 単体奥行き寸法

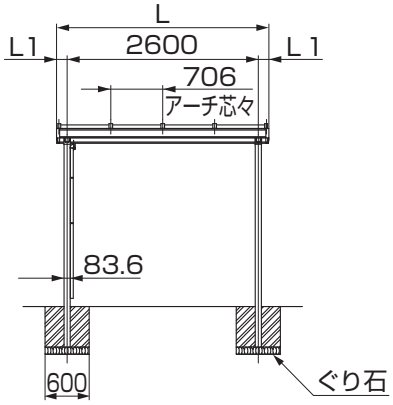


図2-3　29型

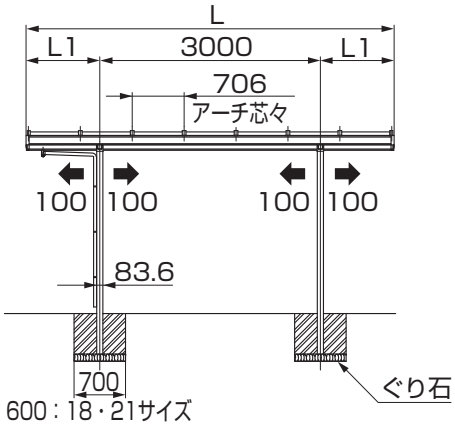


図2-4　50型

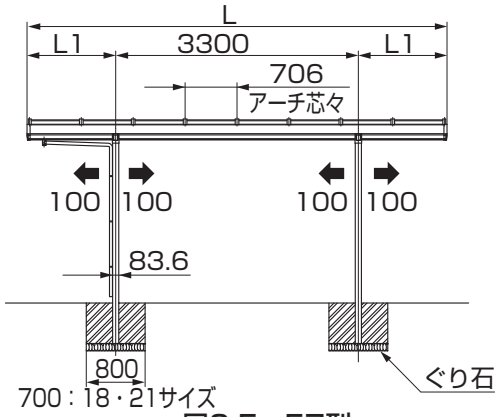


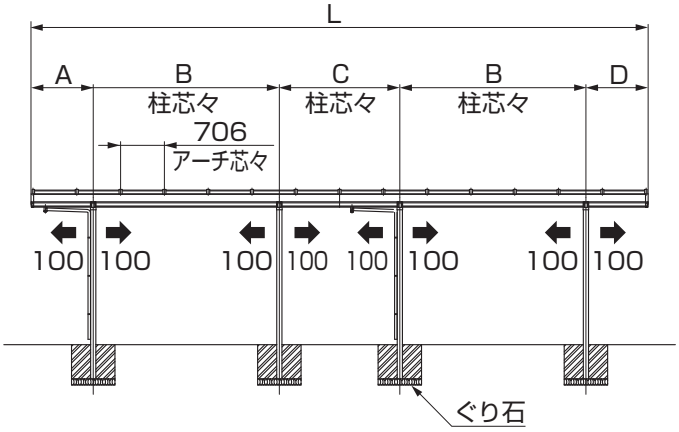
図2-5　57型

表2-3　単体奥行き寸法

奥行き	標　準		プラス	
	L	L1	L	L1
29型	2876	138	2888	144
50型	4994	997	5006	1003
57型	5700	1200	5712	1206

※柱芯々寸法は±100mm以内にしてください。
※29型は柱移動はできません。

2-4 連棟・延長タイプ奥行き寸法



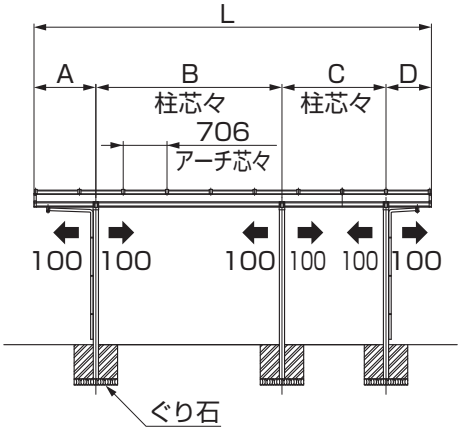


表2-4　連棟延長タイプ奥行き寸法

奥行き	標　準					プラス				
	L	A	B	C	D	L	A	B	C	D
50-50連棟	9936	997	3000	1942	997	9948	1003	3000	1942	1003
50-57連棟	10642	997	3000	2145	1200	10654	1003	3000	2145	1206
57-57連棟	11348	1200	3300	2348	1200	11360	1206	3300	2348	1206
50-14連棟	6406	997	3000	1677	732	6418	1003	3000	1677	738
57-14連棟	7112	1200	3300	1880	732	7124	1206	3300	1880	738

2　基本の施工方法

1. 基礎の施工

1-1　基礎位置の墨出し

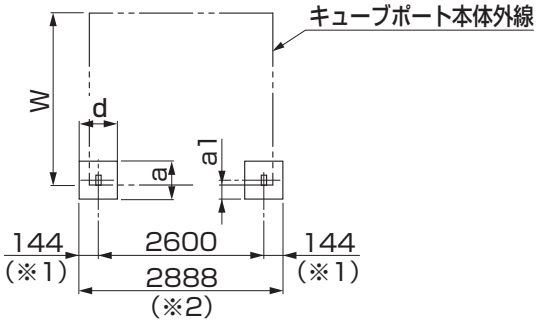


図1-1　29サイズ

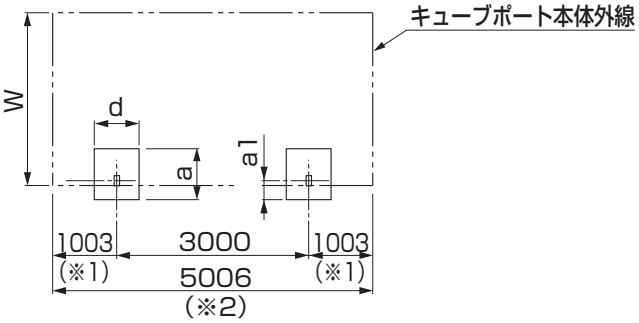


図1-2　50サイズ

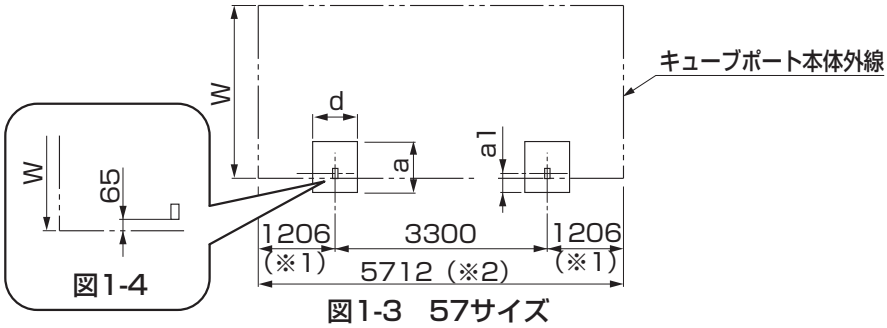


図1-4

図1-3　57サイズ

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

注 意

●柱の移動は弊社指定範囲内にしてください。

ポイント

●間口、奥行サイズにより基礎の大きさが変わります。

補 足

●柱の移動は±100mm以内です。
●柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
●29サイズは柱移動ができません。
●〈　〉内寸法は30サイズの場合を示します。
●29サイズはW18,21のみです。
●後枠は柱から65mm外に出ています。(図1-4参照)
●本体外線は、キューブポートプラスです。標準は※1寸法から6mm、※2寸法は12mm減らしてください。

表1-1

サイズ呼称	W	a					a1				d				
		土間なし			土間コンクリート		土間なし		土間コンクリート		土間なし			土間コンクリート	
		29	50	57	29	50・57	29	50・57	29	50・57	29	50	57	29	50・57
18	1807	600	800	950	400	400	300	300	200	200	600	700	800	300	300
21	2107														
24	2406.5	—			—		—		—		—			—	
25.5	2557														
27	2706.5														
30	3006		1000	1150		500				250					

1. つづき

1-2 基礎寸法 ※土間コンクリート仕様の場合

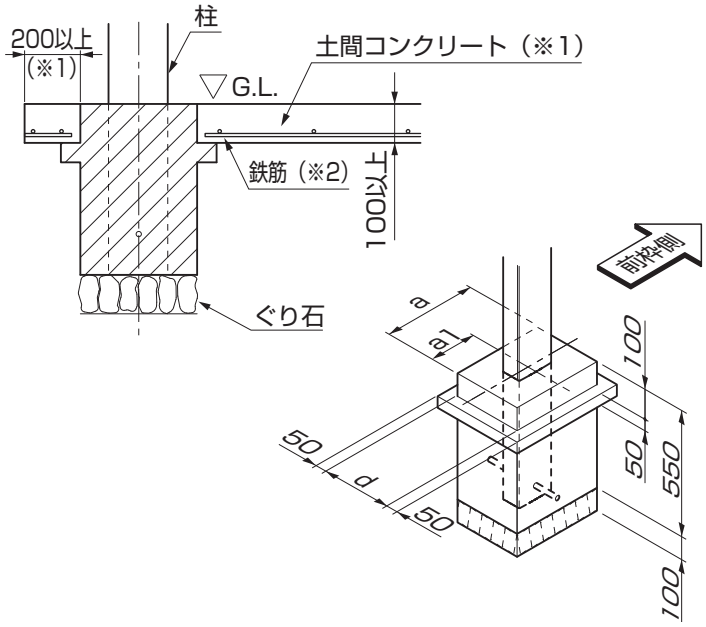


図1-5　土間コンクリート仕様の場合

ポイント

- 基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。（※1）
- 土間コンクリートには、鉄筋を敷設してください。（※2）

表1-2

サイズ	a	a1	d
18、21	400	200	300
24～27	400	200	300
30	500	250	300

2. 柱と梁の取付け

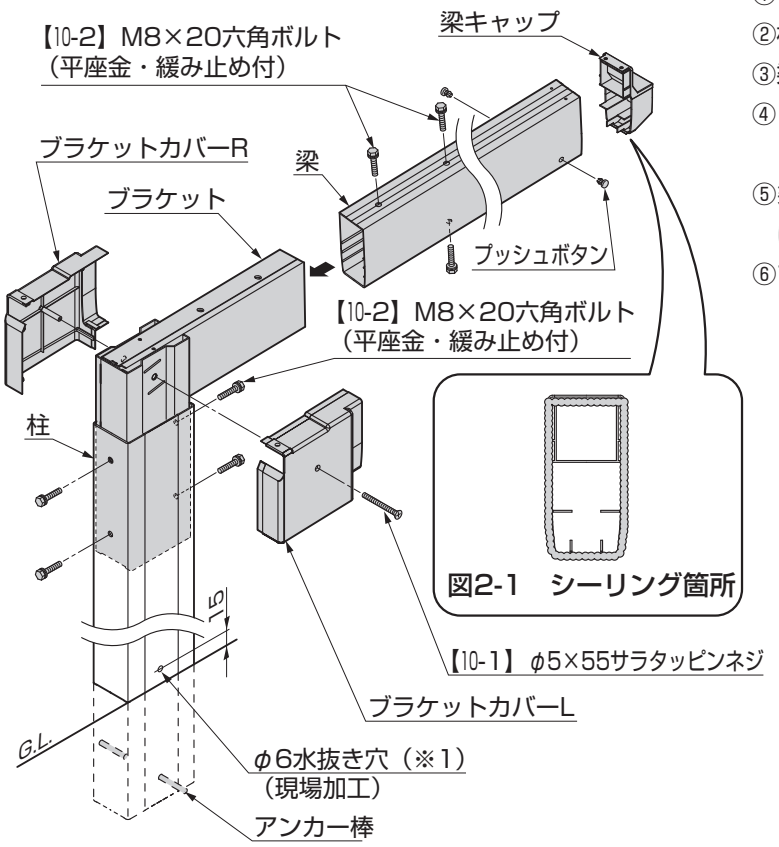


図2-1　シーリング箇所

①柱にアンカー棒を差込んでください。
②柱にブラケットを【10-2】で取付けてください。
③梁をブラケットに【10-2】で取付けてください。
④ブラケットカバーR、ブラケットカバーLを【10-1】で取付けてください。
⑤梁キャップにシーリング材を充てんして、梁に取付けてください。（図2-1参照）
⑥プッシュボタンを梁に取付けてください。

ポイント

- 「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に竪樋を取付けると、表示が見えなくなります。竪樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
- 柱のG.L.付近（地上側）にφ6水抜き穴（※1）をあけてください。

補足

- 指定の箇所にシーリングしてください。（図2-1参照）
- 同梱のブチルシーリング材を使用してください。

3. カラー部材の組付け ※カラー仕様の場合は施工前にこの作業を行なってください。

※カラー部材セットは販売を終了しました。

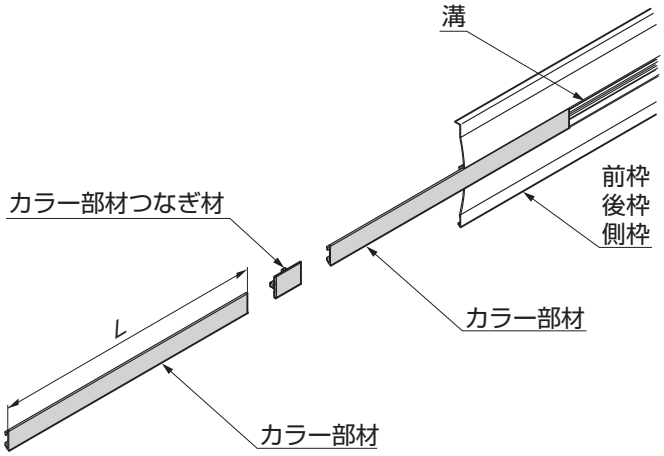


表3-1　側枠用カラー部材寸法

側枠サイズ	L	必要本数
18型	1667	2
21型	1966	2
24型	2267	2
25.5型	2417	2
27型	2567	2
30型	2867	2

表3-2　前枠・後枠用カラー部材寸法

前枠・後枠サイズ	L	必要本数
22型	2113	2
29型	2819	2
50型	2467	4
57型	2820	4
14型	1410.5	2

①カラー部材を表3-1、表3-2を参照し、切断してください。

②カラー部材を前枠・後枠・側枠の溝に挿入してください。

補 足

●前枠・後枠の50型，57型，14型は接続部にカラー部材つなぎ材を挿入してください。

4. 前枠・母屋・後枠の取付け

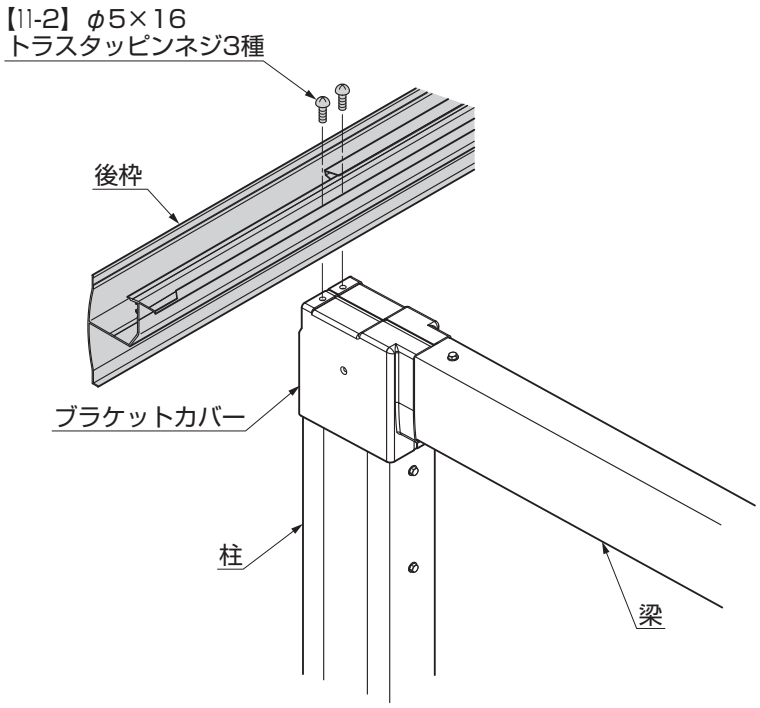


図4-1

①後枠をブラケットカバーに【11-2】で取付けてください。（図4-1参照）

4. つづき

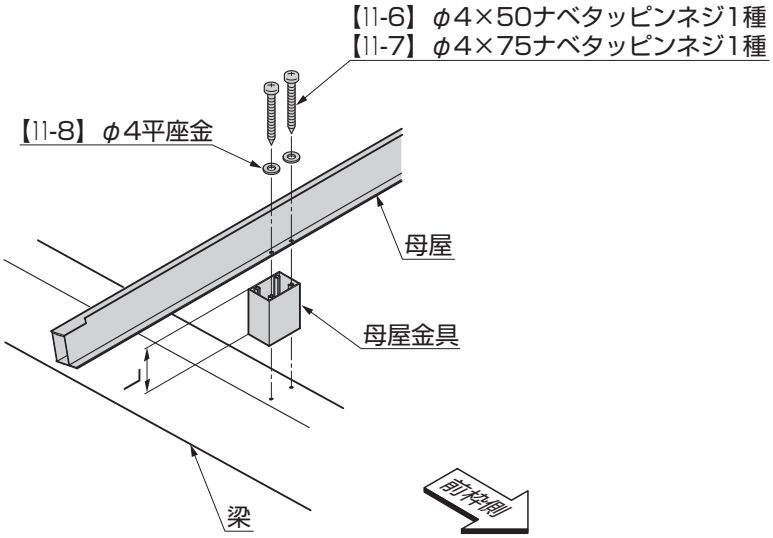


図4-2

表4-1

	L	使用ネジ
母屋金具A	32	【11-6】φ4×50 ナベタッピンネジ1種
母屋金具B	62	【11-7】φ4×75 ナベタッピンネジ1種

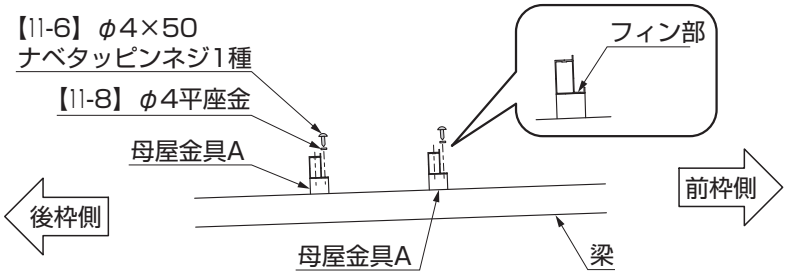


図4-3　18型・21型

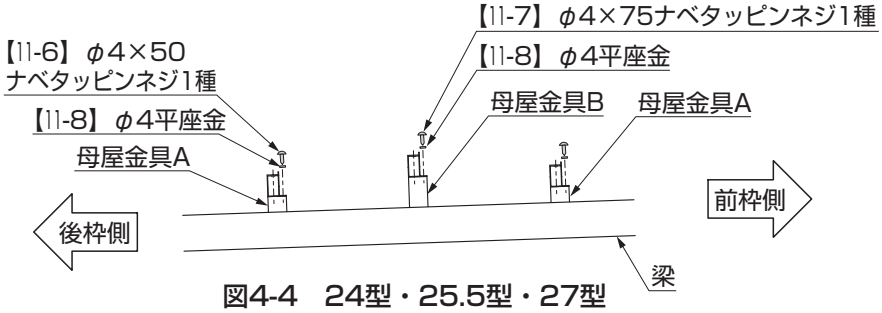


図4-4　24型・25.5型・27型

②前枠側にフィン部を向けて梁に母屋と母屋金具を【11-6】、【11-7】と【11-8】で取付けてください。
（図4-3、図4-4、図4-5、表4-1参照）

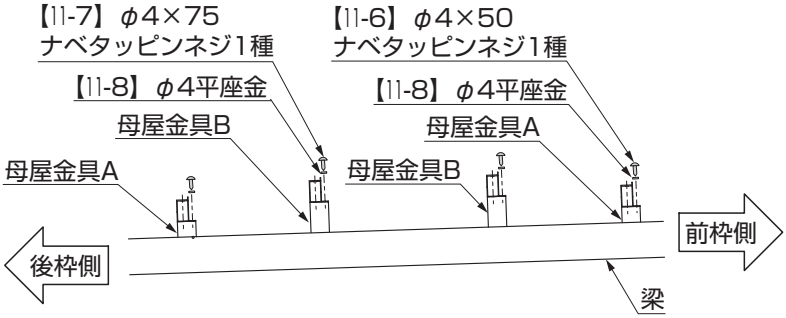


図4-5　30型

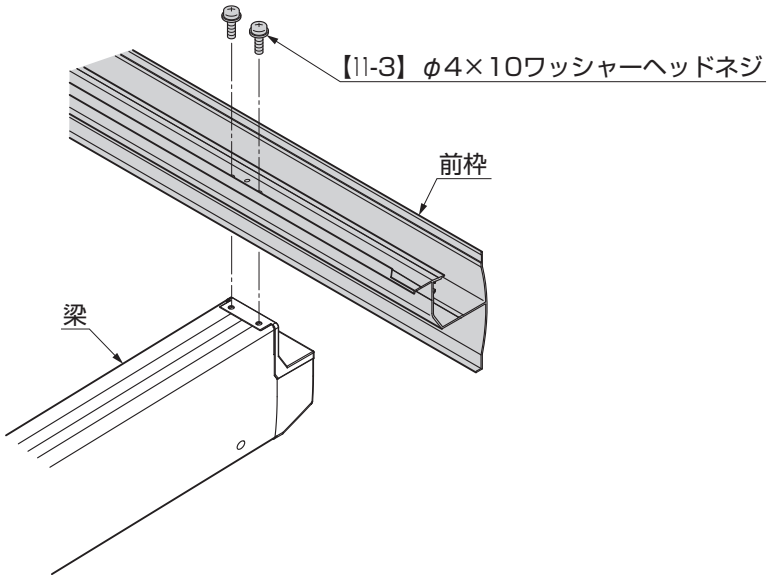


図4-6

③前枠を梁に【11-3】で取付けてください。（図4-6参照）

ポイント

●柱を移動した場合は、前枠・後枠・母屋を梁に合わせて、後枠はφ5.5、前後枠・母屋はφ4.5の穴加工を行なってください。
●既存の加工穴には穴隠しシールを貼ってください。

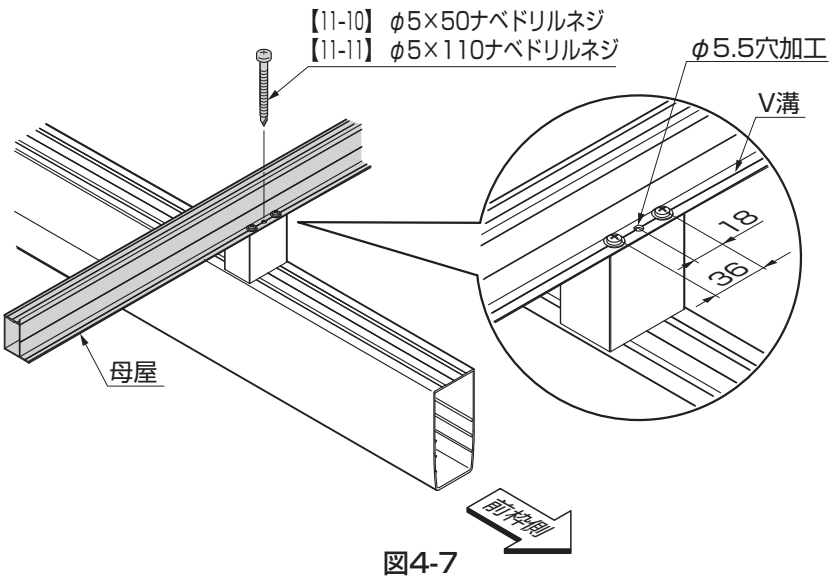


図4-7

④母屋を固定しているネジ【11-6】、【11-8】の中間V溝上にφ5.5の穴をあけてください。（図4-7参照）

ポイント

●30型の後枠側の母屋に【11-3】を取付ける際は、梁とブラケット共にφ4の下穴をあけてください。

⑤φ5.5の穴に【11-10】、【11-11】を取付けてください。

補 足

●母屋金具Aに【11-10】、母屋金具Bには【11-11】を使用してください。

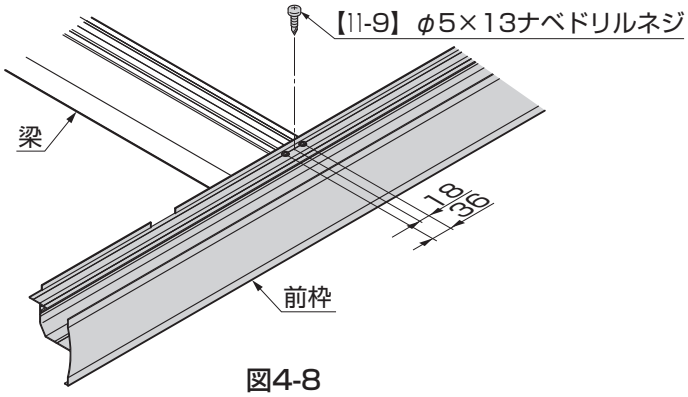


図4-8

⑥57型の場合は、前枠を固定している【11-3】の中間V溝上に【11-9】を取付けてください。（図4-8参照）

5. Fフレームの取付け（オプション）

5-1 Fフレームの取付け1

※母屋と母屋の間に取付ける場合の作業です。

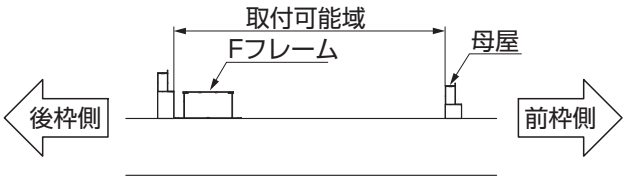


図5-1

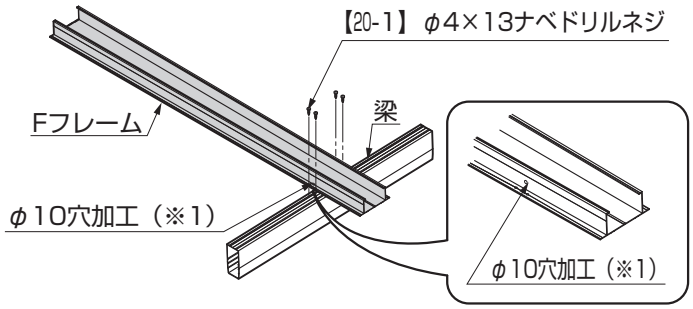


図5-2

ポイント

- ●フレームは母屋と母屋の間の任意の位置に取付けることができます。
- ●前後枠と母屋の間には取付けられません。
- ●Fフレームの端部位置は母屋の端部位置とそろえてください。
- ●ユニット取付けタイプはFフレームにユニット取付穴の加工がありますので、施工の際は、位置を確認して施工してください。

①Fフレームを梁にのせ、Fフレームの取付け穴を梁上部のV溝に合わせ、【20-1】で取付けてください。
②Fフレームの側面もしくは底面に配線用のφ10の穴加工を行なってください。（※1）

注 意

- ●配線を通す穴を梁・柱にあけないでください。梁・柱の強度が低下します。

5-2 Fフレームの取付け2

※母屋金具Bの代わりにFフレームと母屋を取付ける場合の作業です。

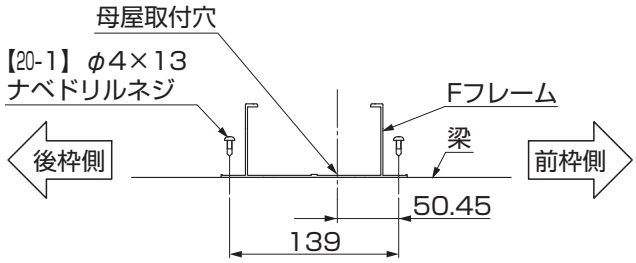


図5-3

ポイント

- ●Fフレームと母屋金具Bは高さが同じです。母屋金具Bの位置にFフレームを取付けることができます。

①図のようにFフレームを梁の母屋取付け穴から前枠側に50.45mmの位置に【20-1】で取付けてください。
②Fフレームの側面に配線用のφ10の穴加工を行なってください。

注 意

- ●配線を通す穴を梁・柱にあけないでください。梁・柱の強度が低下します。

5-3 Fフレーム蓋の取付け1　※母屋と母屋の間にFフレームを取付ける場合の作業です。

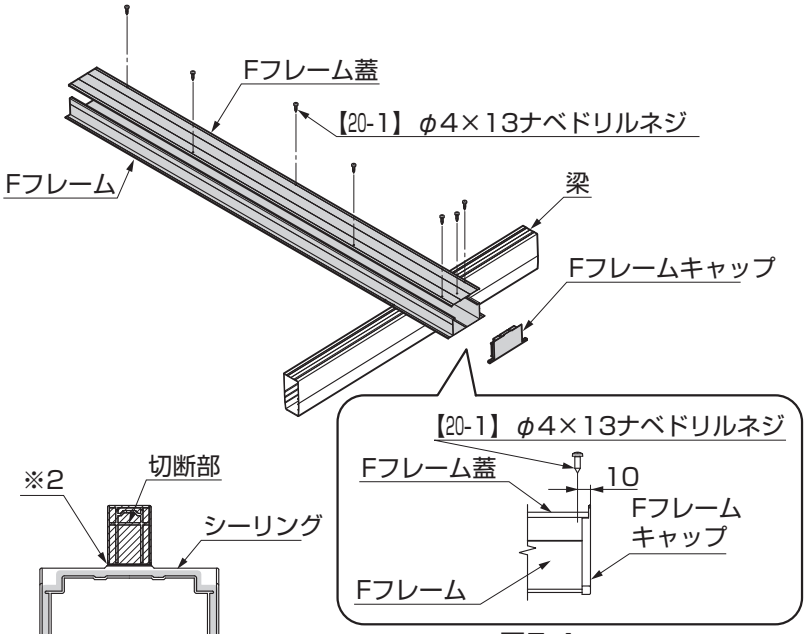


図5-4

図5-5

①FフレームにFフレーム蓋を【20-1】で取付けてください。（図5-4参照）
②FフレームキャップをV溝に合わせ上部を切断し（※2）、シーリング材を充てんしてFフレームに取付けてください。（図5-5参照）
③Fフレームキャップを【20-1】で固定してください。

5-4 Fフレーム蓋の取付け2　※母屋金具Bの代わりにFフレームと母屋を取付ける場合の作業です。

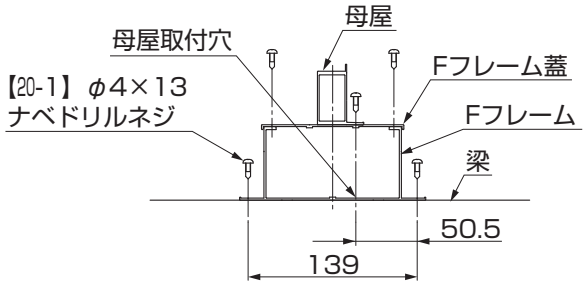


図5-6

ポイント

●Fフレームと母屋金具Bは高さが同じです。母屋金具Bの位置にFフレームを取付けることができます。

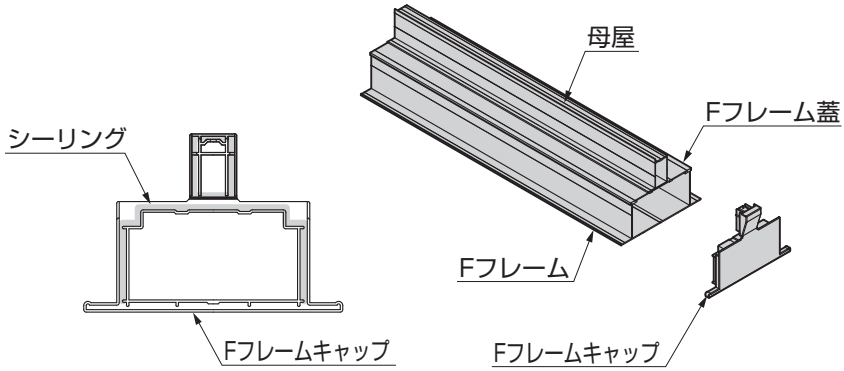


図5-7　図5-8

①図のようにFフレームを梁の母屋取付け穴から前枠側に50.5mmの位置に【20-1】で取付けてください。
②FフレームにFフレーム蓋を【20-1】で取付けてください。
③Fフレーム蓋の上に母屋をのせ、母屋の取付け穴をFフレーム蓋の中央部前枠側のV溝に合わせ、【20-1】で取付けてください。
④Fフレームキャップにシーリング材を充てんしてFフレームと母屋に取付けてください。（図5-7、図5-8参照）

メモページ

6. 側枠・アーチの取付け

6-1 側枠・アーチの取付け ※側枠が付くタイプの場合の作業です。

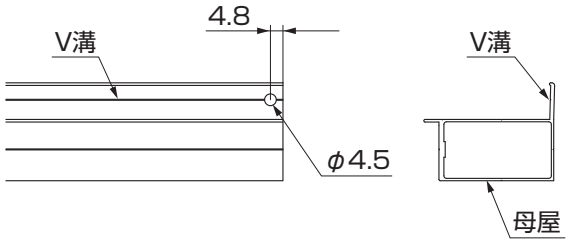


図6-1

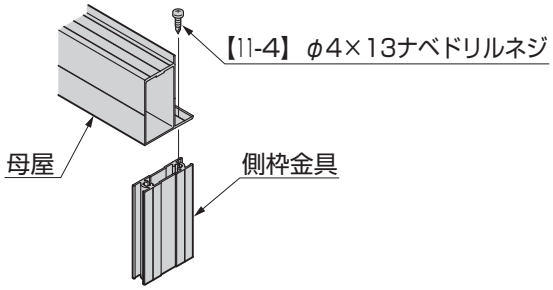


図6-2

①屋根中央部の母屋1本の両端にφ4.5の穴加工してください。(図6-1参照)

補 足

●母屋の本数が偶数の場合は、前枠に近い側の母屋に加工してください。

②加工した母屋に側枠金具を【11-4】で取付けてください。(図6-2参照)

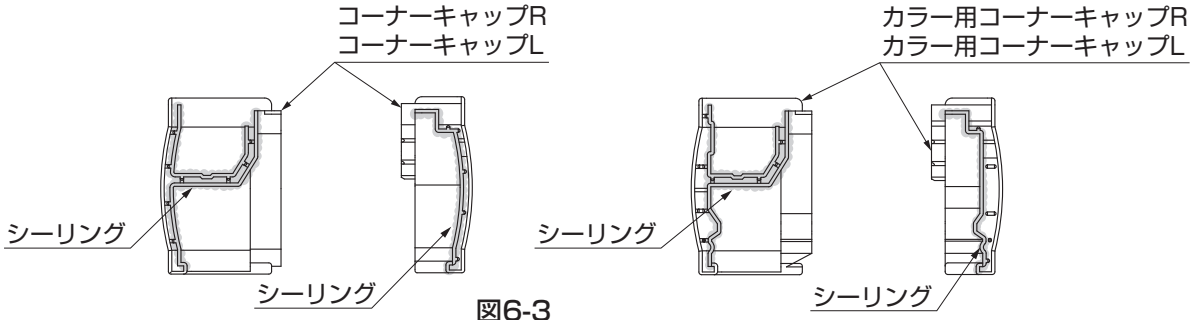


図6-3

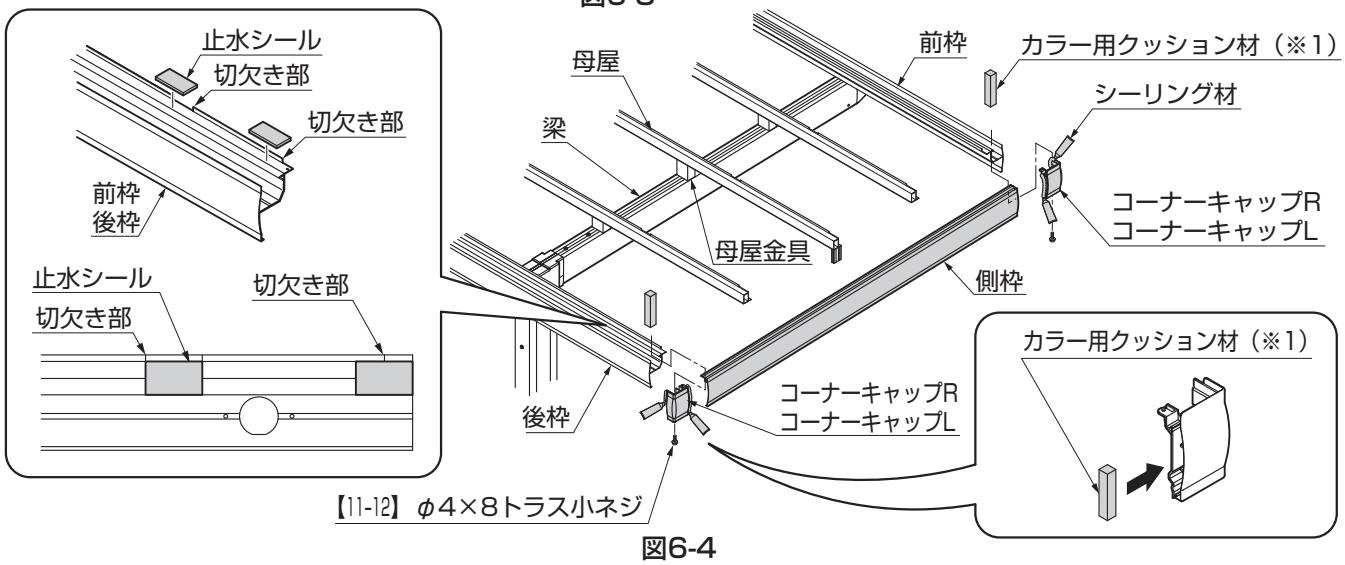


図6-4

③コーナーキャップRおよびコーナーキャップLにシーリング材を充てんして、側枠に取付けてください。(図6-3参照)

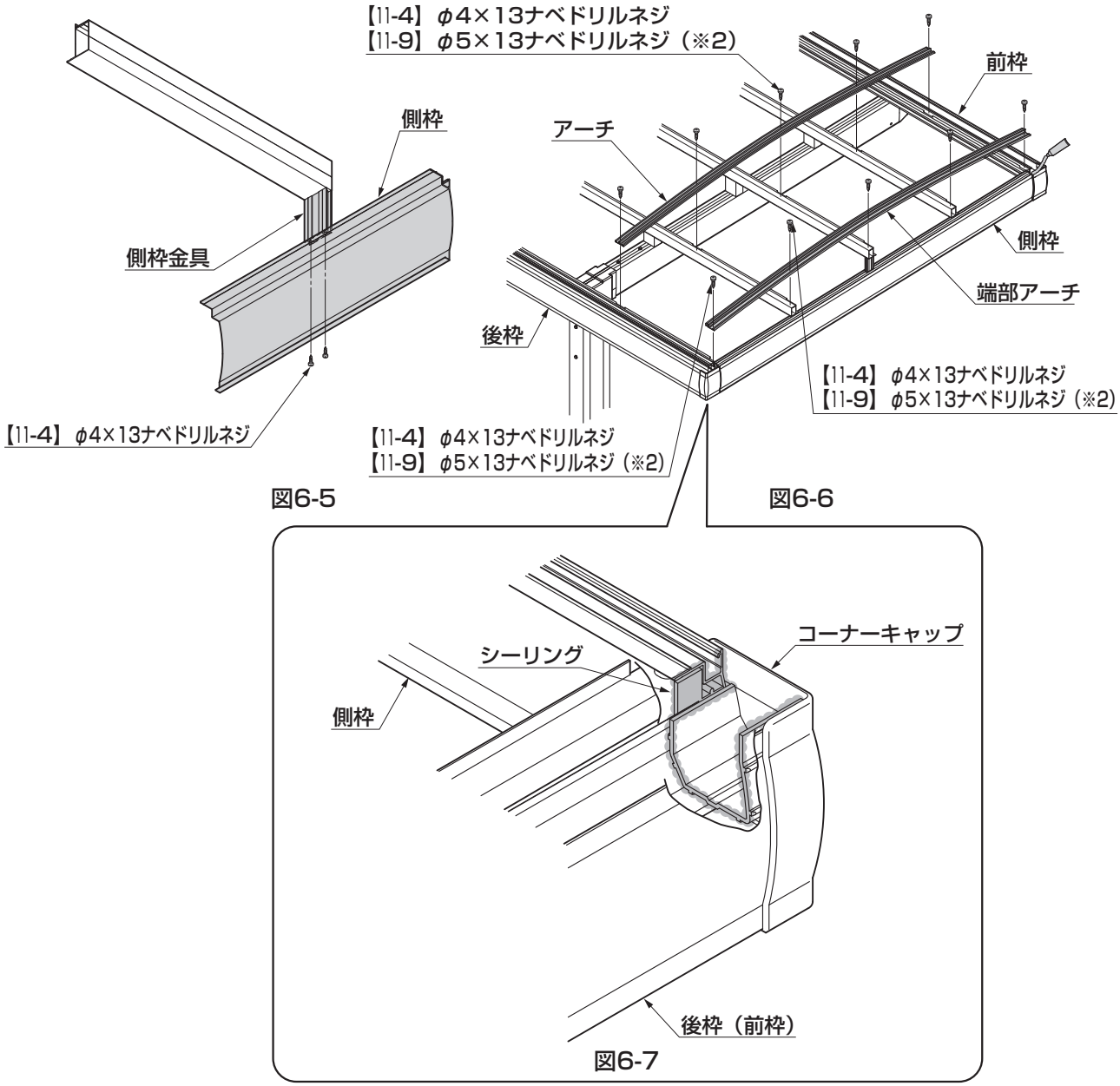
補 足

●指定の箇所にシーリングしてください。(図6-3参照)

●同梱のブチルシーリング材を使用してください。

●カラー用コーナーキャップは前枠・後枠側との間にすき間がありますのでカラー用クッション材(※1)をすき間にはさみ、その上からシーリング材を充てんしてください。

6. つづき



④側枠の端部の穴にコーナーキャップの穴を合わせる様に取付け、前枠・後枠の端部の穴と合わせて【11-12】で取付けてください。（図6-4参照）

⑤前枠・後枠のアーチ，端部アーチ取付部に止水シールを貼付けてください。（図6-4参照）

⑥前枠・後枠および側枠とコーナーキャップの間にシーリング材を充てんしてください。（図6-7参照）

⑦側枠金具のV溝と側枠のV溝を合わせて【11-4】で取付けてください。（図6-5参照）

⑧前枠・後枠および母屋のV溝にアーチの穴を合わせて【11-4】、57型は【11-9】（※2）で取付けてください。（図6-6参照）

⑨屋根枠まわりの対角・水平出しおよび柱の垂直出しをしてください。

補 足

●前枠・後枠および母屋には加工穴はあいていません。

●中間アーチに前後の区別はありません。

●端部アーチは前枠・後枠・母屋の取付け部の切欠きに押付けて取付けてください。

●側枠を取付けた後に側枠の両小口部上部にシーリング材を充てんしてください。

6-2 アーチの取付け ※側枠が付かないタイプの場合の作業です。

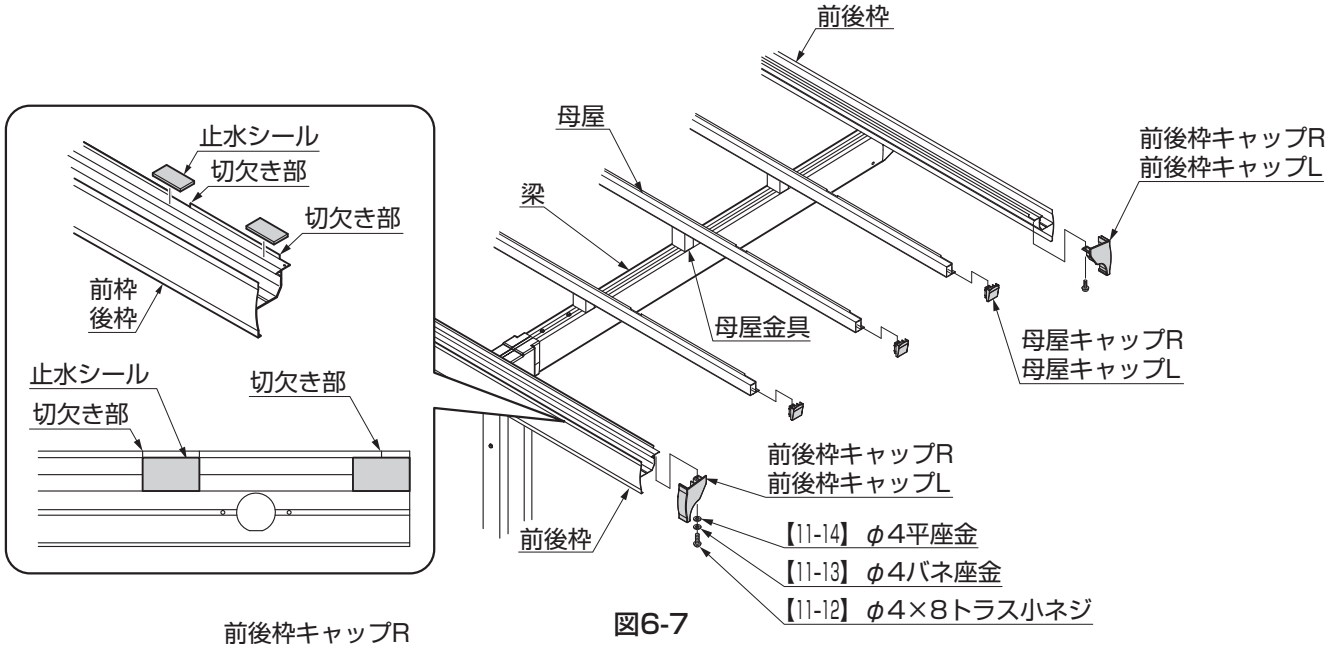


図6-7

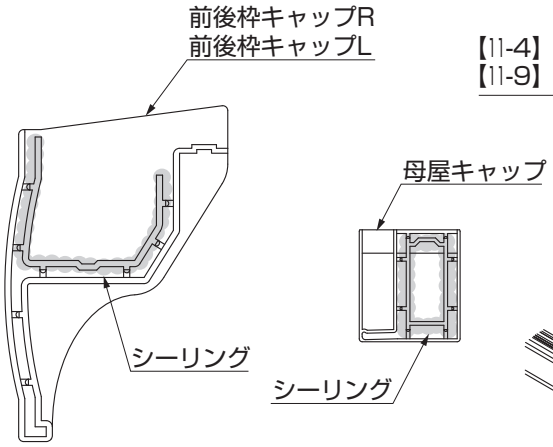


図6-8

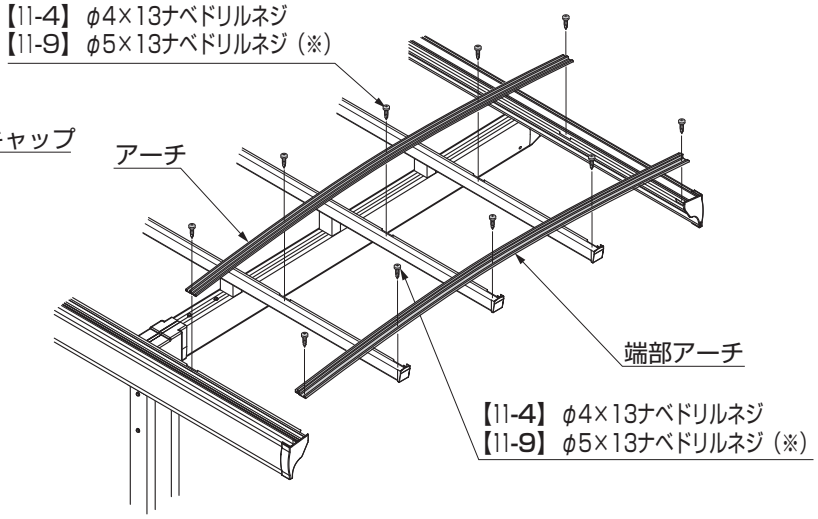


図6-9

①前枠・後枠のアーチ，端部アーチの取付け部に止水シールを貼付けてください。

②前後枠キャップRおよび前後枠キャップLにシーリング材を充てんしてください。（図6-7、図6-8参照）

③前後枠キャップRおよび前後枠キャップLを【11-12】、【11-13】、【11-14】で取付けてください。

補 足

●指定の箇所にシーリングしてください。（図6-8参照）

●同梱のブチルシーリング材を使用してください。

④前枠・後枠・母屋のV溝にアーチの穴を合わせて【11-4】、57型は【11-9】（※）で取付けてください。

補 足

●前枠・後枠および母屋には加工穴はあいていません。

●中間アーチに前後の区別はありません。

●端部アーチはワイド棟木・後枠・母屋のアーチ取付け部の切欠きに押付け、母屋キャップをしっかり突き当てて取付けてください。

7. 屋根パネルの取付け

7-1 屋根パネルの取付け

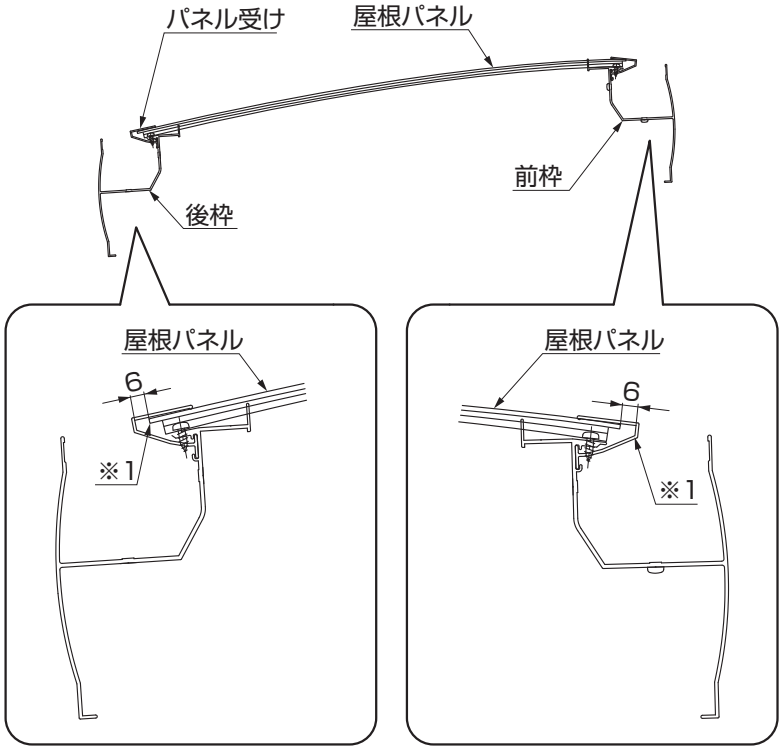


図7-1

①屋根パネルを前枠と後枠のパネル受けに差込んでください。

ポイント

- ●屋根パネルは後枠側と前枠側で均等にしてください。（※1）
- ●屋根パネルを均等に取付けることができない場合は、前後枠・側枠のまわりの対角、前後枠の水平を測ってください。
- ●アーチ部ののみ込み寸法は、左右均等にしてください。
- ●屋根パネルは必ず裏表を確認し、保護シートをはがしてから取付けてください。

7-2 妻パネル、端部アーチカバー・中間アーチカバーの取付け

※妻パネルが付くタイプの場合の作業です。

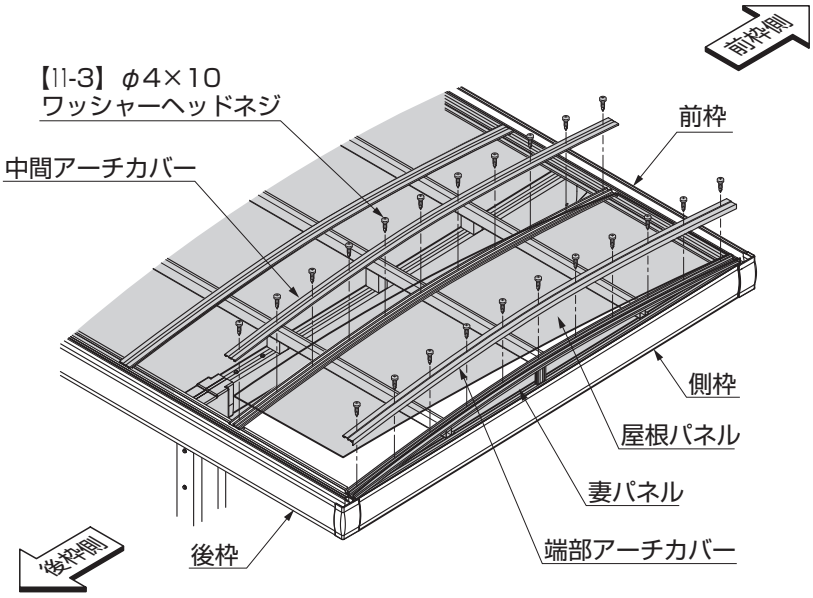


図7-2

①側枠の溝に妻パネルを差込んでください。

補 足

- ●妻パネルはザラザラした面が表側を向くように取付けてください。

②端部アーチカバーを妻パネルと屋根パネルの両方にかぶせて前枠側からアーチに【11-3】で取付けてください。
（図7-2、図7-3参照）

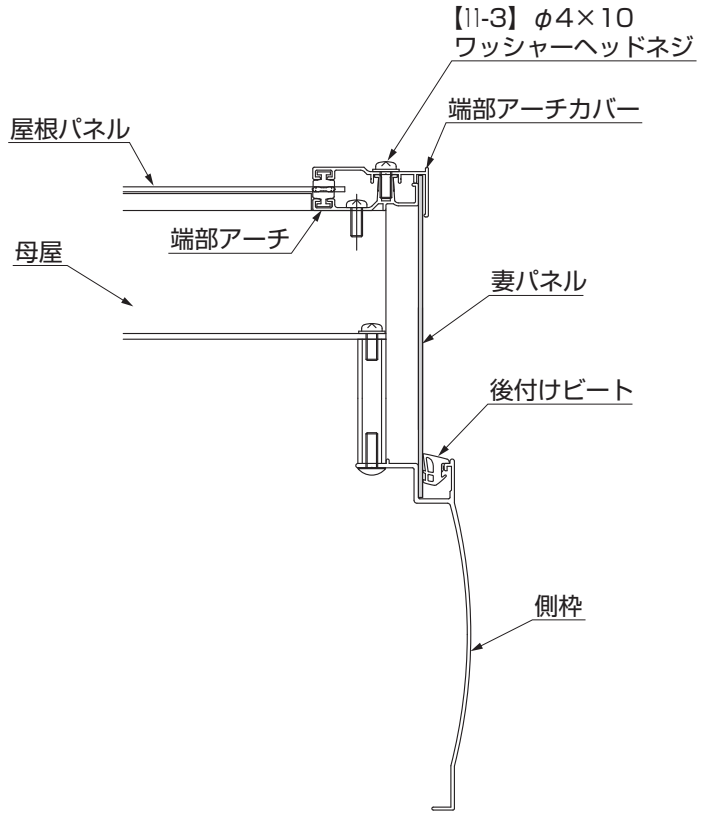


図7-3

③妻パネルを後付けビートで押え込んでください。

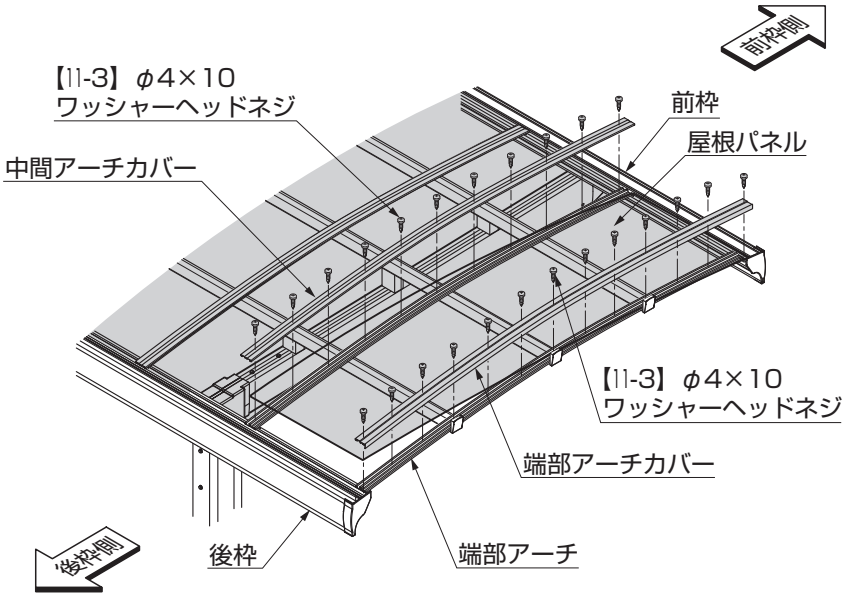
④端部アーチカバーを前後枠の前側からアーチに【11-3】で取付けてください。

補 足

●後付けビートは側枠に合わせてカットしてください。

7-3 端部アーチカバー・中間アーチカバーの取付け

※妻パネルが付かないタイプの場合の作業です。



①端部アーチカバー、中間アーチカバーを前枠側からアーチに【11-3】で取付けてください。

図7-4

8. 竪樋の取付け

8-1 横樋の取付け

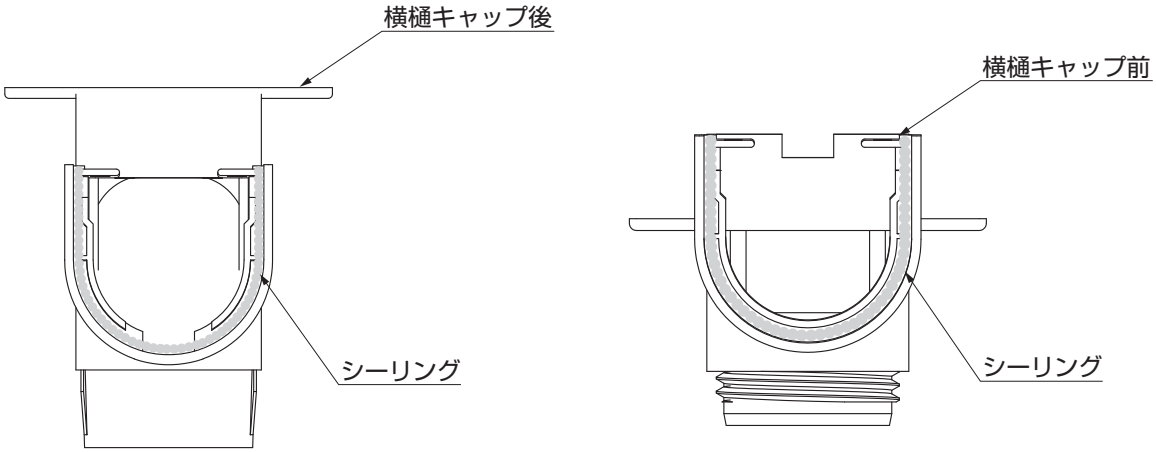


図8-1

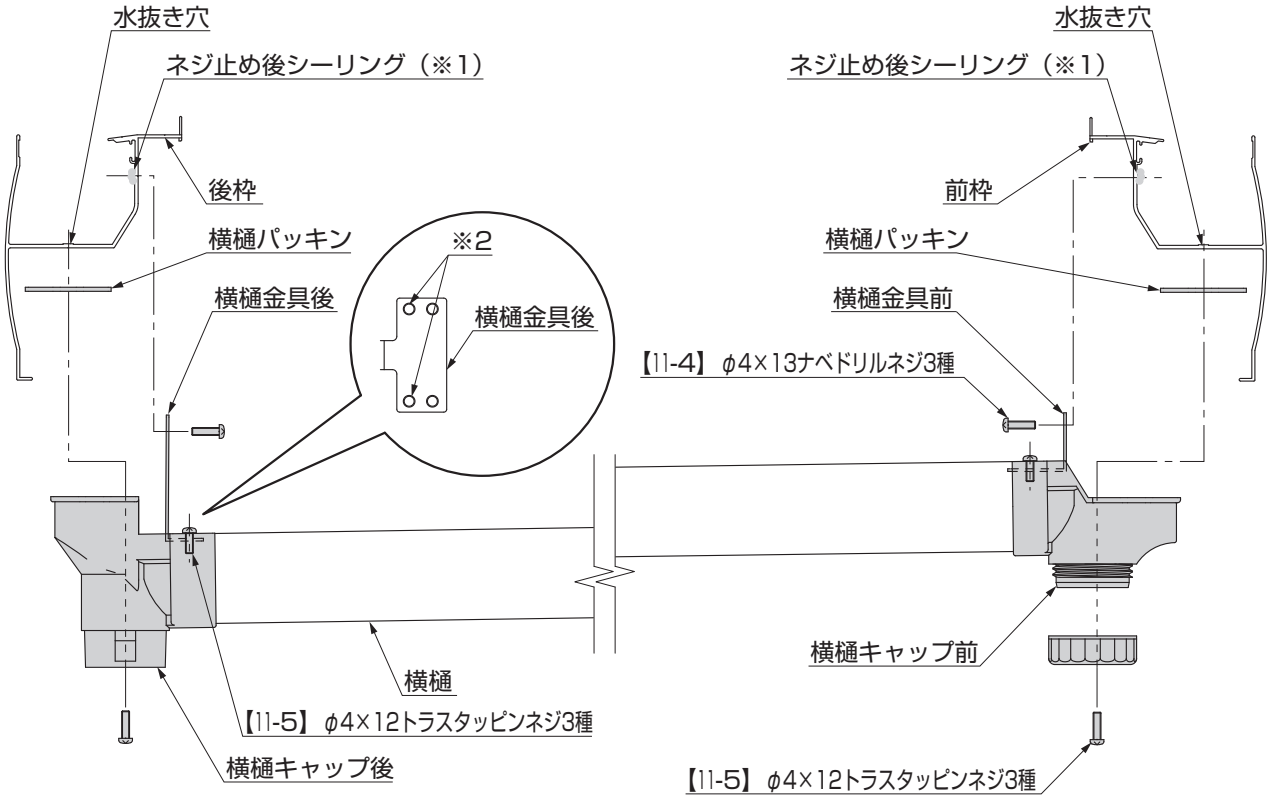


図8-2

①横樋キャップ前と横樋キャップ後にシーリングを充てんして、横樋と横樋キャップ前と横樋金具前、横樋と横樋キャップ後と横樋金具後の穴を合わせて【11-5】で組付けてください。

②前枠両端の片方の水抜き穴に横樋パッキンと横樋キャップ前を【11-5】で取付け、同様に後枠に横樋パッキンと横樋キャップ後を【11-5】で取付けてください。

③横樋金具前を前枠に【11-4】で固定し、同様に横樋金具後を後枠に【11-4】で固定してください。

④ネジ部にシーリング材（※1）を充てんしてください。

補 足

●【11-5】は、横樋金具後の左側の穴に取付けてください。（※2）

8-2 竪樋の取付け

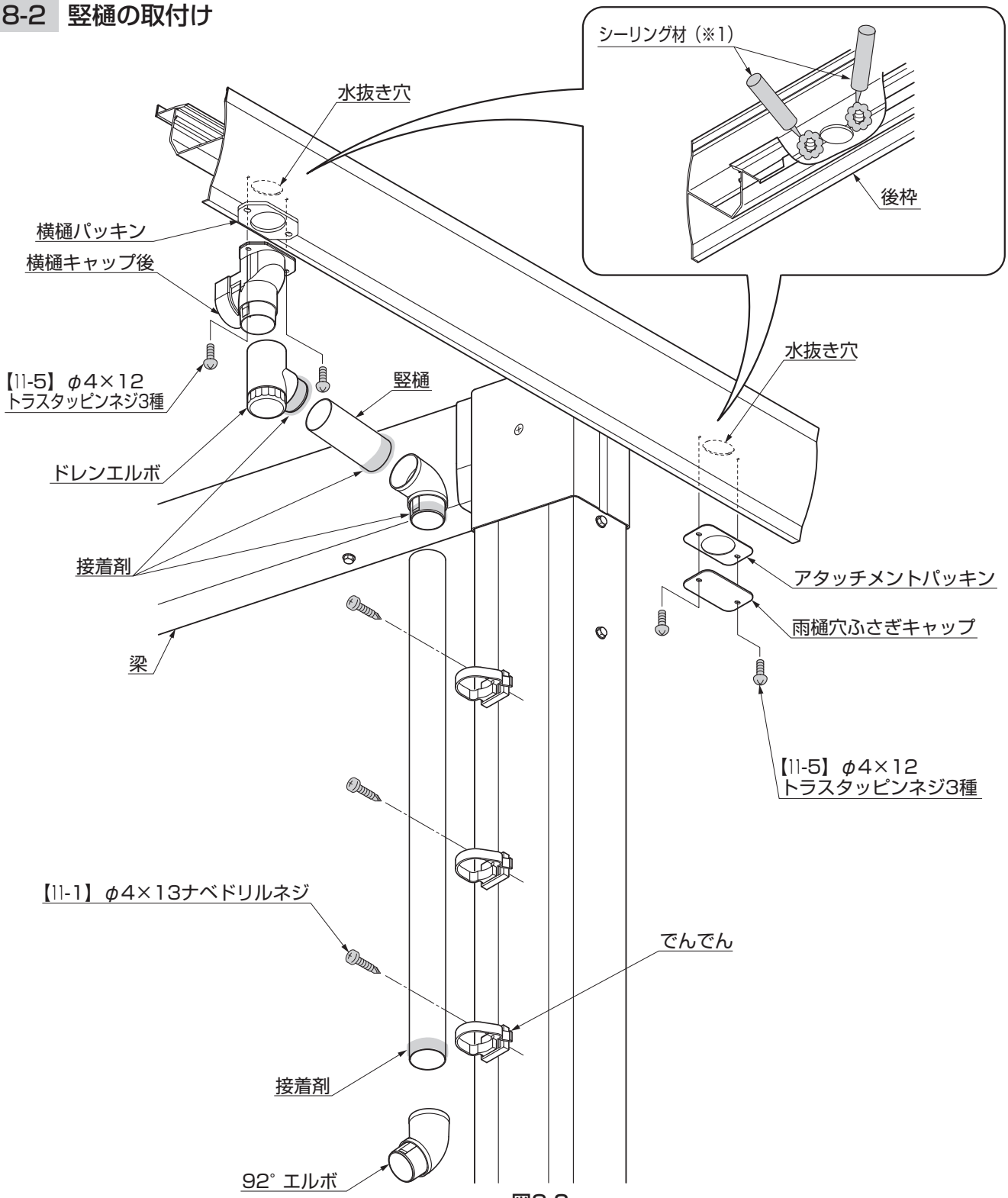


図8-3

①前枠と後枠の横樋を取付けなかった方の水抜き穴にアタッチメントパッキン、雨樋穴ふさぎキャップを【11-5】で取付けてください。

②横樋キャップを水抜き穴に横樋パッキンをはさんで【11-5】で取付けてください。

③横樋キャップ後にドレンエルボ、竪樋、92° エルボ、でんでんを接着剤と【11-1】で取付けてください。

④ネジ部にシーリング材（※1）を充てんしてください。

3　M合掌の施工方法

1. 基礎の施工

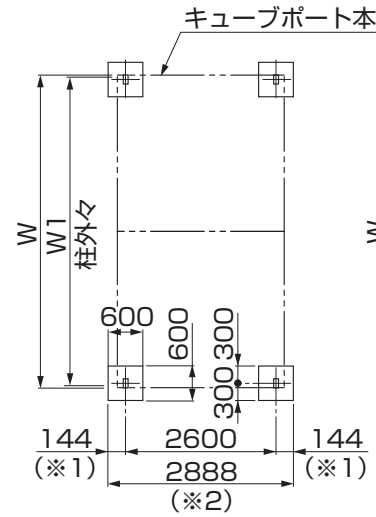


図1-1　29サイズ

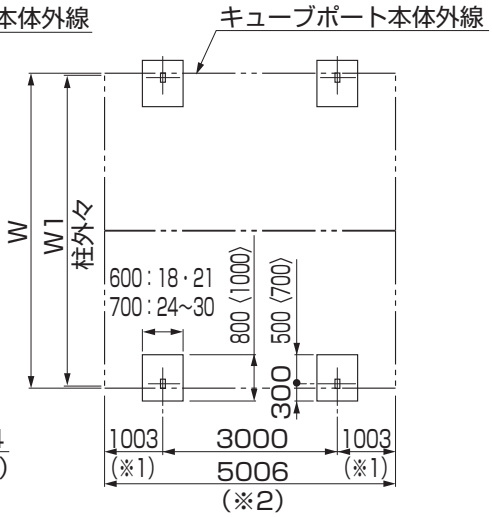


図1-2　50サイズ

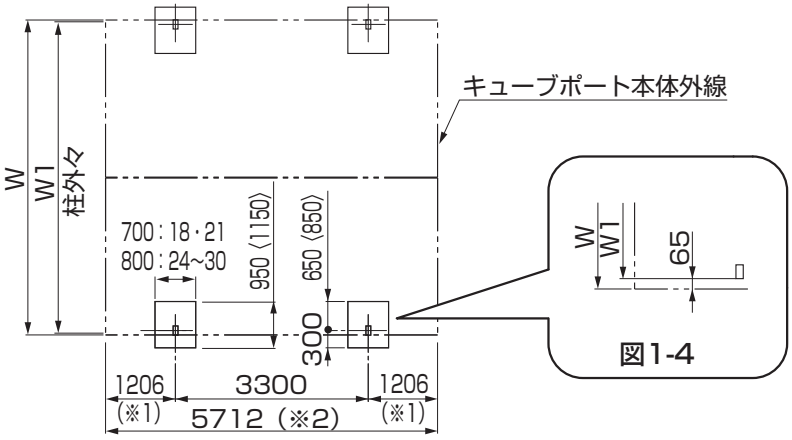


図1-3　57サイズ

図1-4

①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

補 足

- ●柱の移動は±100mm以内です。
- ●柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- ●29サイズは柱移動ができません。
- ●〈　〉内寸法は30サイズの場合を示します。
- ●29サイズはW18,21のみです。
- ●後枠は柱から65mm外に出ています。（図1-4参照）
- ●本体外線はキューブポートプラスです。標準は※1寸法から6mm、※2寸法から12mm減らしてください。

ポイント

- ●間口、奥行サイズにより基礎の大きさが変わります。

サイズ呼称	W	W1
18-18型	3623	3493
21-21型	4221	4091
24-24型	4821	4691
25.5-25.5型	5121	4991
27-27型	5421	5291
30-30型	6020	5890

2. 本体の組立て

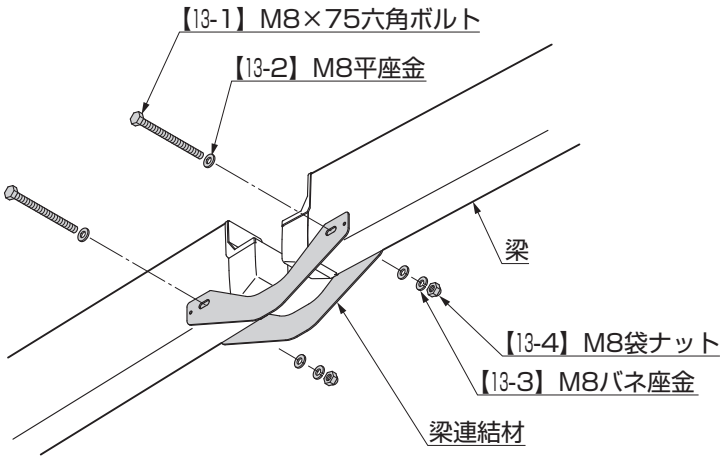


図2-1

①柱、梁を組立てて建て込み、梁のプッシュボタンを外した後、梁と梁を梁連結金具で接続してください。（図2-1参照）

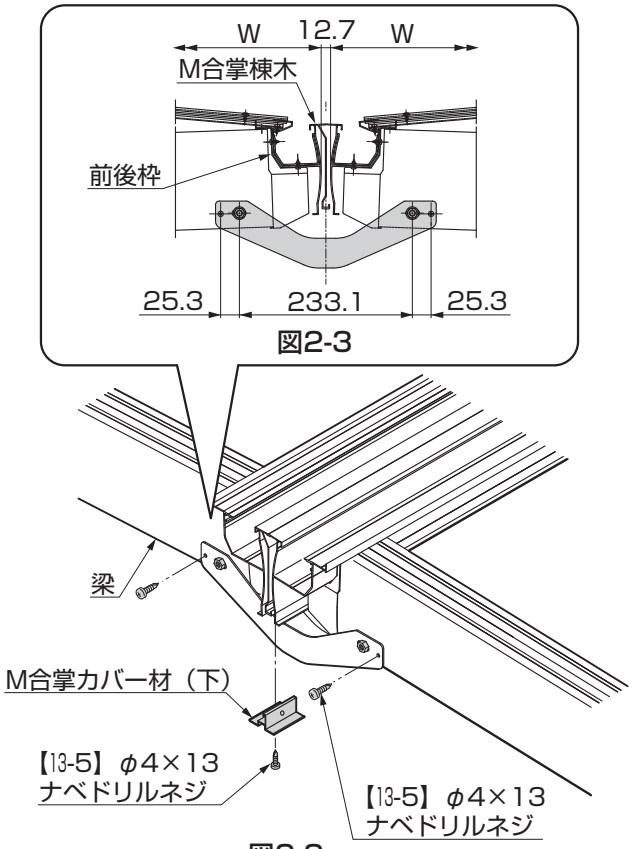


図2-3

図2-2

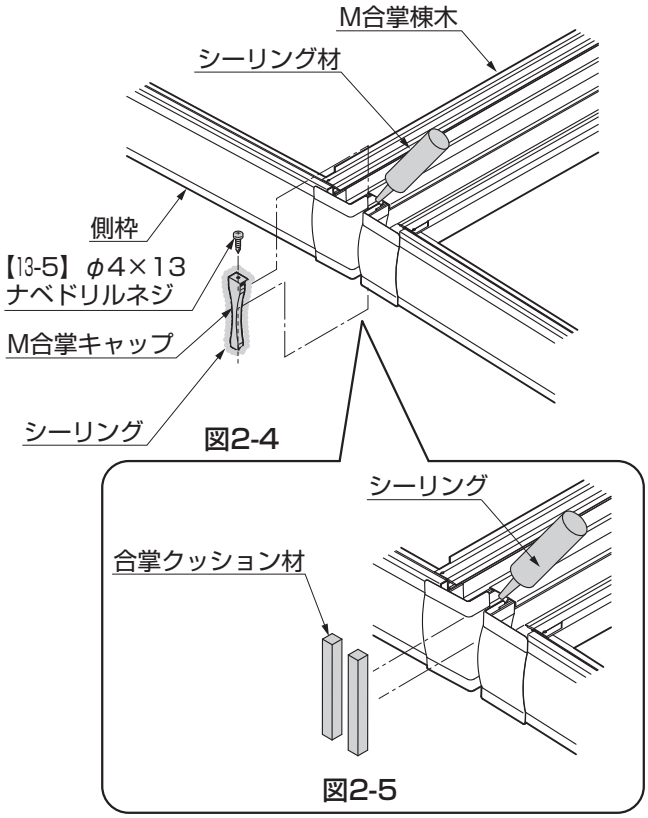


図2-4

図2-5

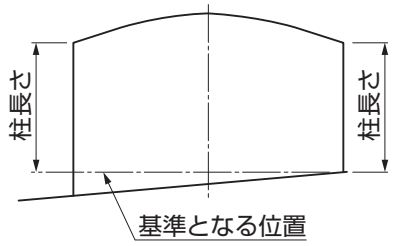
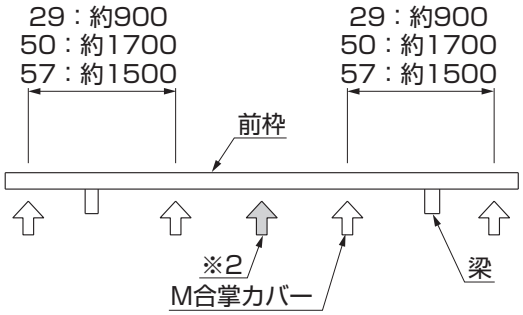


図2-6



M合掌カバー取付け位置

②M合掌棟木を46mmカットしてください。

③合掌棟木を前枠と前枠の間に乗せてM合掌カバーで固定してください。（図2-2参照）

④M合掌キャップを取付けてください。（図2-6参照）

⑤梁連結材を【13-5】で固定してください。

⑥M合掌キャップと前枠の間のすき間に合掌クッション材を入れてシーリング材を充てんしてください。（図2-5参照）

ポイント

●基準になる位置からの柱の長さを同じにしてください。合掌棟木に水がたまり、漏水するおそれがあります。（図2-6参照）

補 足

●連棟用の合掌棟木はカットしないでください。

●M合掌部以外の取付けは、「2　基本の施工方法」を参照してください。

●前枠と前枠間隔は12.7mmであることを確認してください。（※1）
57型のみ中心になります。（※2）

4　縦連棟・14延長の施工方法

1. 基礎の施工

1-1　基礎の寸法

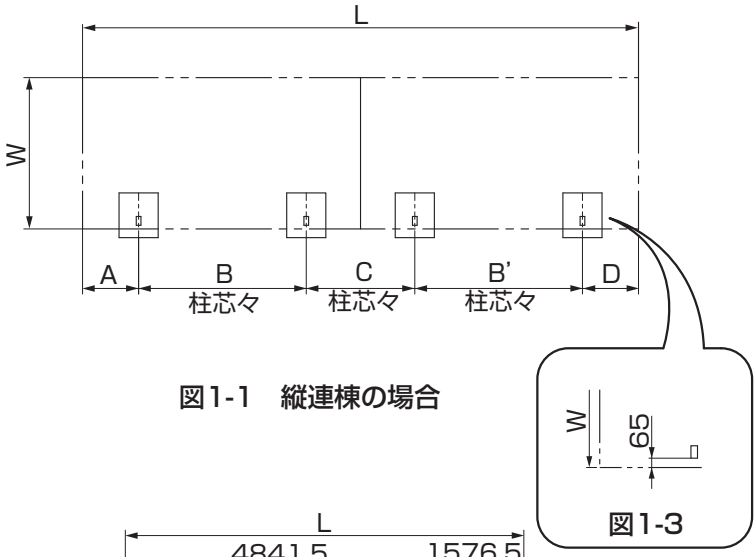


図1-1　縦連棟の場合

図1-3

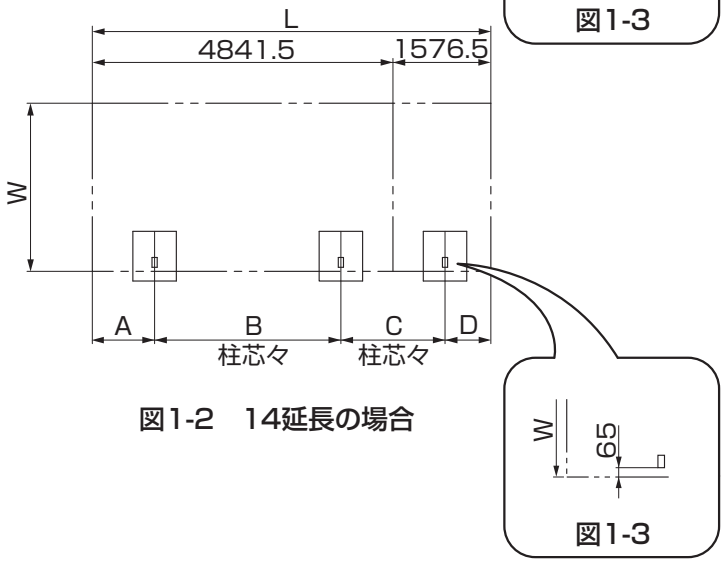


図1-2　14延長の場合

図1-3

①柱の埋込み穴の位置を出して、柱基礎穴を掘り込んでください。

補 足

- ●基礎構造については「1　基本寸法と各部の名称　2.基本寸法」を参照してください。
- ●柱の移動は±100mm以内です。
- ●柱芯々寸法が±100mm以内になるようにしてください。
- ●〈　〉内寸法は30サイズの場合を示します。
- ●後枠は柱から65mm外に出ています。（図1-3参照）
- ●M合掌の縦連棟・14延長の場合は「3　M合掌の施工方法　1.基礎の施工」を参考に施工してください。

サイズ呼称	W
18型	1807
21型	2107
24型	2406.5
25.5型	2557
27型	2706.5
30型	3006

奥行き	標　準					
	L	A	B	B'	C	D
50-50連棟	9936	997	3000	3000	1942	997
50-57連棟	10642	997	3000	3300	2145	1200
57-57連棟	11348	1200	3300	3300	2348	1200
50-14延長	6406	997	3000	−	1677	732
57-14延長	7112	1200	3300	−	1880	732

奥行き	プラス					
	L	A	B	B'	C	D
50-50連棟	9948	1003	3000	3000	1942	1003
50-57連棟	10654	1003	3000	3300	2145	1206
57-57連棟	11360	1206	3300	3300	2348	1206
50-14延長	6418	1003	3000	−	1677	738
57-14延長	7124	1206	3300	−	1880	738

2. 本体の連結

2-1 連棟部の加工

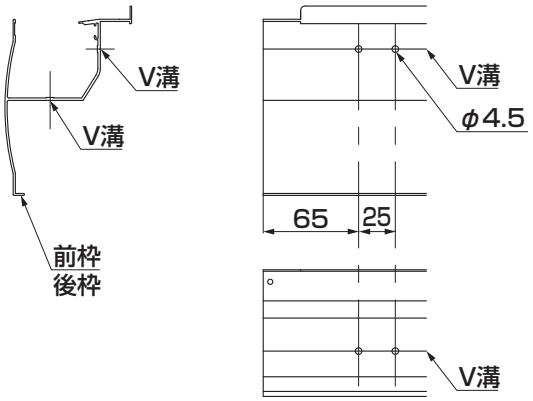


図2-1　前枠・後枠連棟部の加工

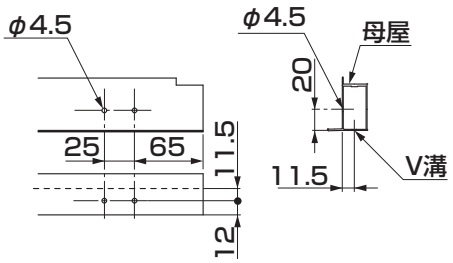


図2-2　母屋連棟部の加工

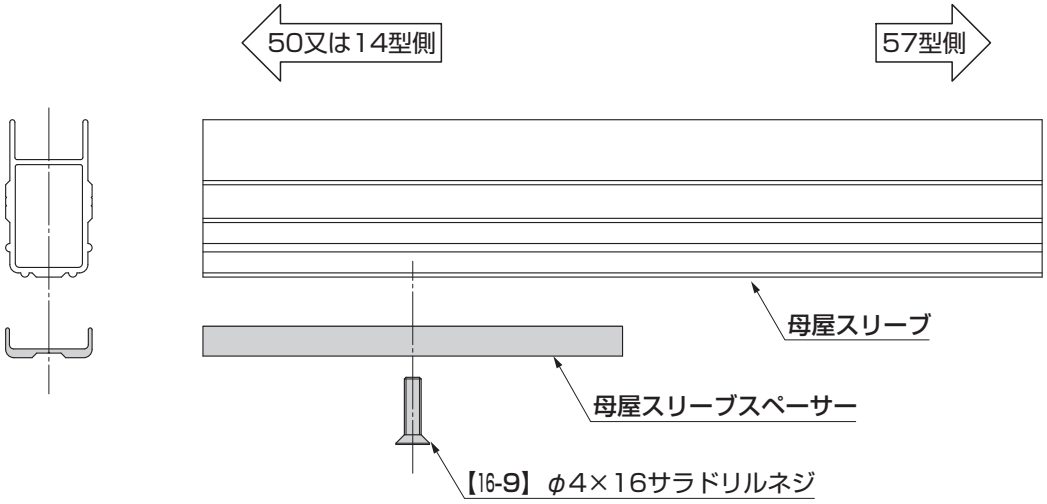
①前枠・後枠および母屋の連棟部に穴加工してください。（図2-1、図2-2、図2-3参照）

ポイント

●母屋側面の穴加工はフィン側にしてください。
●母屋に穴加工を行なう際は、母屋の中に当て板等を入れ、ドリルを貫通させないようにしてください。

2-2 母屋スリーブスペーサーの取付け

※57型の母屋と50型または14型の母屋を連棟する場合に必要な作業です。



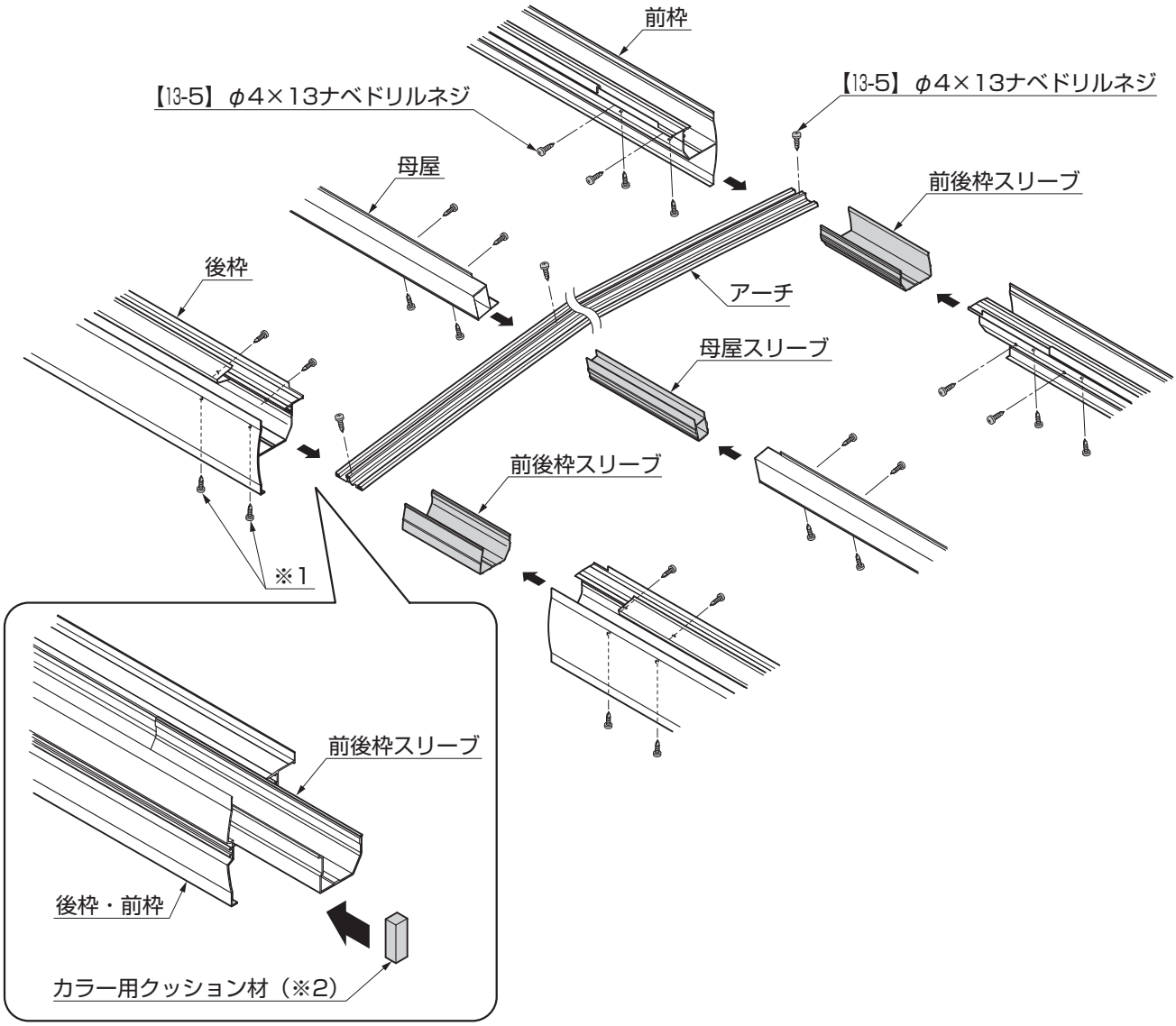
①母屋スリーブに【16-9】で母屋スリーブスペーサーを取付けてください。

ポイント

●57型同士、50型同士、50型と14型の連棟では母屋スリーブスペーサーの取付けは行ないません。

2. つづき

2-3 連棟部の連結



①前後枠スリーブを取付ける【13-5】にシーリングをしてください。（※1）
②前枠・母屋・後枠にそれぞれ前後枠スリーブ、母屋スリーブを【13-5】で取付けて連結してください。
③全ての【13-5】の回りにシーリングをしてください。

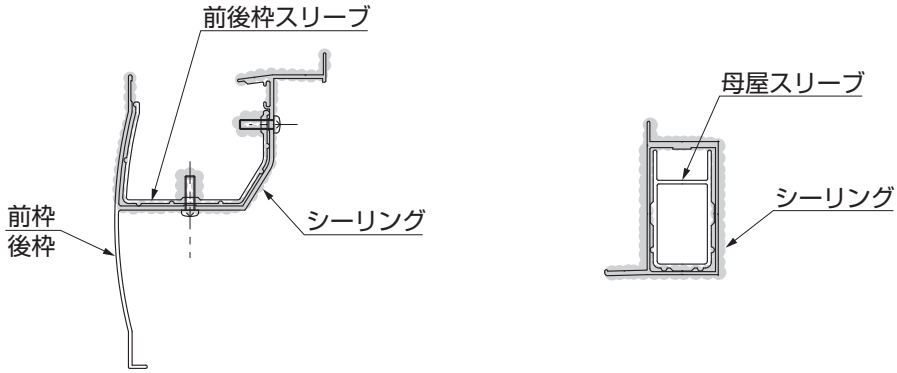
ポイント

●連棟部分以外の組立ては、「2.基本の施工方法」を参照してください。
●連棟部はすき間や片当たりがないように連結してください。

補 足

●指定の箇所にシーリングしてください。
●同梱のブチルシーリング材を使用してください。
●後枠・前枠端部のキャップの取付穴は、同梱の穴ふさぎシールでふさいでください。
●カラー用前後枠は前後枠スリーブとの間にすき間がありますのでシーリング材を充てんする前にカラー用クッション材（※2）を連棟部のすき間にはさみ、その上からシーリング材を充てんしてください。

2-4 シーリング処理



①連棟部分にシーリングを充てんしてください。

補 足

●カラー用の場合は、前枠・後枠と前後枠スリーブの間にすき間がありますのでシーリング材を充てんする前にカラー用クッション材をすき間にはさみ、その上からシーリング材を充てんしてください。
●指定の箇所にシーリングしてください。
●同梱のブチルシーリング材を使用してください。

3. M合掌の縦連棟

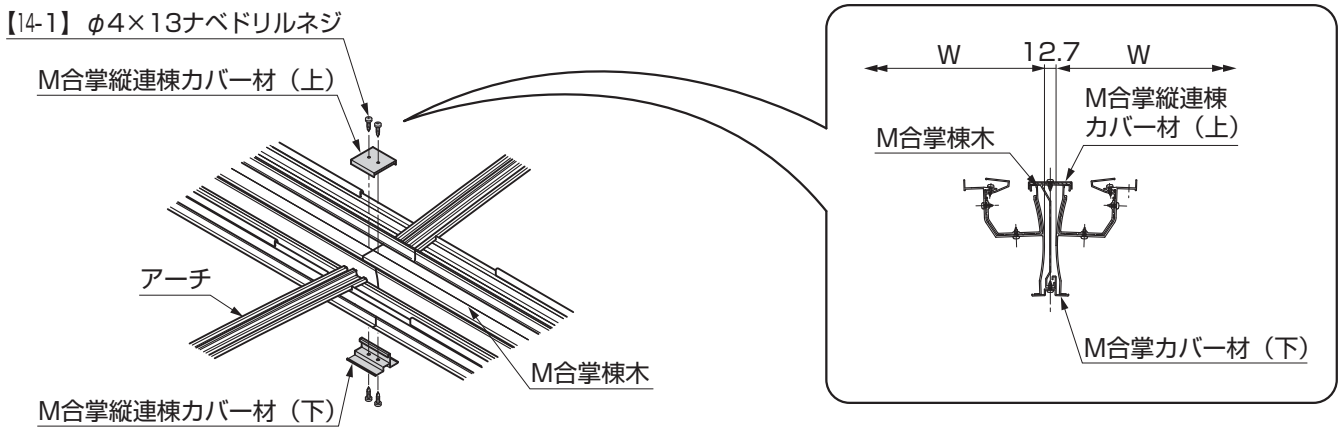


図3-1　M合掌縦連棟

①M合掌の棟木の接続部にM合掌縦連棟カバー材（上）、M合掌縦連棟カバー材（下）を取付けてください。
（図3-1参照）

補 足

●連棟部以外の取付けは、「3　M合掌の施工方法」、「4　M合掌の施工方法」を参照してください。

4. シャッターひさしの取付け（オプション）

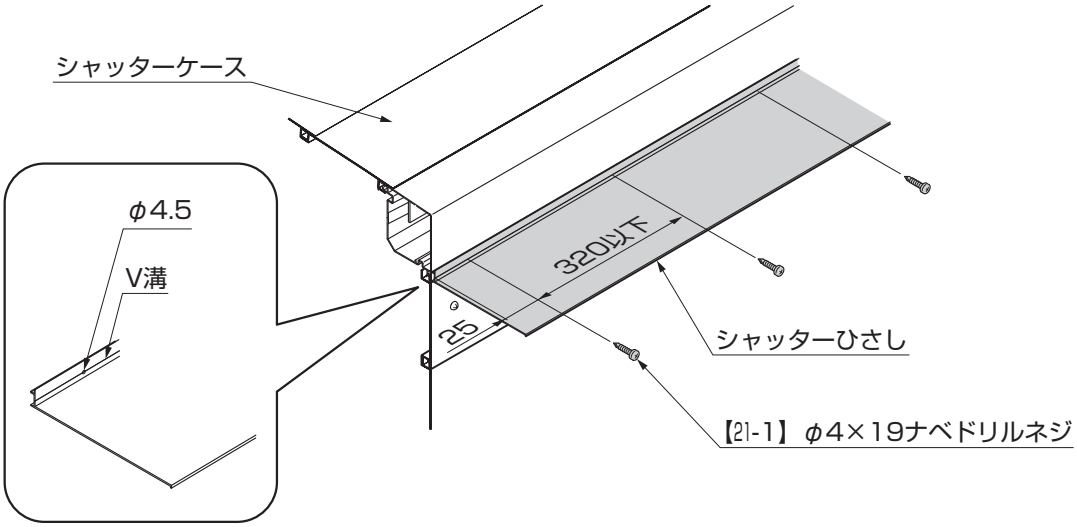


図4-1

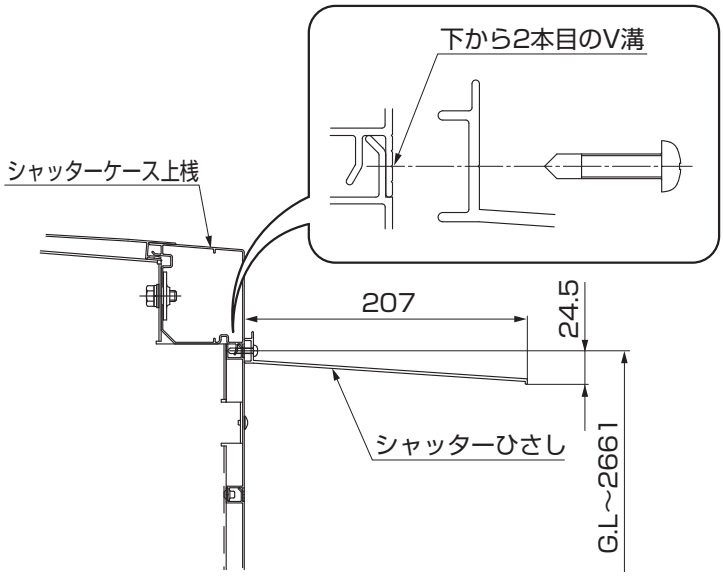


図4-2　シングルシャッターFタイプ

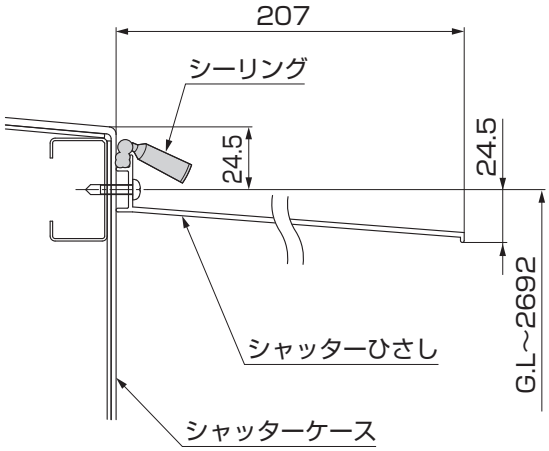


図4-3　シングルシャッターCタイプ

ポイント

●シャッターケースとカーポート屋根部は100mm以上あけてください。メンテナンス作業ができなくなります。

①シャッターケースに合わせてシャッターひさしを切断してください。

②シャッターひさしのV溝に合わせてφ4.5の穴加工をしてください。（図4-1参照）

ポイント

●シングルシャッターFタイプの場合はシャッターケース上桟の下から2本目のV溝に取付けてください。（図4-2参照）

●シングルシャッターCタイプの場合は、図4-3の位置に取付けてください。

③シャッターひさしをシャッターケースに【21-1】で取付けてください。（図4-1参照）

④シャッターひさし上部に通しでシーリング材を充てんしてください。（図4-3参照）

メモページ

取説コード
D344
ULE603369E
200502A_1007
201212H_1039